

# 倉敷埋蔵文化財 センター年報 19

—令和3・4年度—

倉敷埋蔵文化財センター

2023.12

## 序 文

本書は、倉敷埋蔵文化財センターが令和3年度と4年度に実施した発掘調査事業及び教育普及事業について、概要をまとめたものです。

発掘調査事業につきましては、令和3年度から令和5年度にかけて遺跡の保護を目的とした確認調査と測量調査を行う計画を策定しました。天狗山古墳や勝負砂古墳など渡来系要素の強い有力古墳が集中する真備町下二万に築かれた内出1号墳と玉島黒崎に所在する西元浜貝塚の範囲確認調査を実施し、これらの成果を令和5年度刊行の報告書で公開します。また、天狗山古墳の北方に位置する南山北古墳群の測量調査を実施し、その成果を本書に掲載しました。開発行為に伴う発掘調査では、令和3年度に岡田藩陣屋跡など5件、令和4年度に下庄遺跡など6件の確認調査を実施しております。

教育普及事業につきましては、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、企画した主催講座の一部を中止しましたが、延べ12回の講座を開催しました。令和4年度は予定通り18回的主催講座等を開催することができました。今回のコロナ禍の影響については、令和2年3月に主催講座が中止となって以来、令和3年2月までは講座の企画を行うも開催まで至りませんでした。その影響が徐々に減少し、令和5年5月には新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけも変更され、講座等を計画通りに開催できる状況になりつつあります。

本書が埋蔵文化財保護行政の資料として活用され、多くの市民の方が当センターの事業に対する理解と認識を深めていただく契機となれば幸いに存じます。

最後になりましたが、各事業の実施にあたり、ご指導ご協力を賜りました多くの方々に深く感謝申し上げますとともに、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年12月28日

倉敷埋蔵文化財センター  
館長 小野雅明



令和3（2021）年度

---





## 目 次

### ■令和3年度■

I 組織	1
II 事業の概要	1
III 教育普及事業報告	4
IV 調査事業報告	5
桜城跡立会調査報告	9
雁ヶ谷下池遺跡確認調査報告	11
上東遺跡・平松城跡確認調査報告	12
岡田藩陣屋跡確認調査報告	13
南山北古墳群測量調査報告	14
新吉岡橋南遺跡確認調査報告	16
V 寄贈図書一覧	17

### ■令和4年度■

I 組織	25
II 事業の概要	25
III 教育普及事業報告	29
IV 調査事業報告	33
下庄遺跡確認調査報告	37
才楽遺跡確認調査報告	39
金浜遺跡確認調査報告	40
本太城跡立会調査報告	41
島地貝塚確認調査報告	43
上東遺跡・庄城跡確認調査報告	44
V 寄贈図書一覧	45

## 例 言

1. 本書は、倉敷埋蔵文化財センターが令和3～4年度にかけて行った埋蔵文化財保護行政の概要についてまとめたものである。
2. 本書の執筆は、小野雅明・藤原好二・鍵谷守秀・内田智美・那須玲子・日下美樹が分担し、調査事業報告についてはそれぞれ文責を記した。全体編集は藤原が行った。
3. 調査事業報告において、調査報告としているものについては本報告をもって正報告とする。
4. 調査地点位置図で使用した地形図は、倉敷市発行の50,000分の1の都市計画図を縮小したものであり、その他の位置図には、倉敷市発行の都市計画図を複製または縮小したものを使用した。
5. 本書に関する実測図・写真・遺物等は、全て倉敷埋蔵文化財センターで保管している。



## I 組 織

埋蔵文化財センターは、文化財保護課の一施設として、市域内の埋蔵文化財に係る業務を一括して担当している。令和3年度における埋蔵文化財センターの組織及び人員は下記のとおりとなっている。



文化財保護課	課 長	平田 義雄
埋蔵文化財センター	館 長	小野 雅明
〃	主 任	藤原 好二
〃	学芸員	鍵谷 守秀
〃	会計年度任用職員	内田 智美
〃	〃	那須 玲子
〃	〃	日下 美樹

(職名等は令和4年3月31日現在)

## II 事業の概要

### 1 調査事業

- (1) 事前協議 Fax等による埋蔵文化財包蔵地照会は451件と前年度比で約20%の減少であった。引き続きコロナ禍の影響が大きく出てきたようである。また、開発行為指導要綱に基づく事前協議は1件、墓地経営許可に関する事前協議は4件であったが、本年度は遺跡に係る事案はなかった。
- (2) 発掘調査 令和3年度は重要遺跡の範囲確認調査2件、開発に伴う確認調査5件、立会調査を40件実施した。西元浜貝塚の範囲確認調査では、二次堆積と考えられる貝層が検出され、縄文時代中期の土器も出土した。内出1号墳の範囲確認調査では、竪穴式石槨と墳丘の葺石・埴輪列が確認された。開発に伴う確認調査においては、上東遺跡と平松城跡の重複範囲における確認調査で、中世の柱穴が確認された。岡田藩陣屋跡の確認調査では、近代以降に大きな改変を受けていることがわかった。立会調査は、公共事業に伴うものが14件、民間の開発に伴うものが26件である。桜城跡の立会調査では、中世城館における土塁の盛土が確認された。
- (3) 測量調査 真備町川辺に所在する南山北古墳群の7・8号墳について、墳丘形態の確認を主目的とした地上レーザー測量調査を実施した。
- (4) 整理作業 令和4年度の報告書刊行に向けて、塩生遺跡出土遺物の実測作業を実施した。また、秋に確認調査を実施した内出1号墳出土埴輪の水洗・整理作業を行った。

## 2 教育普及事業

- (1) 主催講座等 はにわの箸置きを作ろう等、延べ12回の講座を実施。延べ参加人数128人。  
春の遺跡見学会、2月の体験講座ならびに山城探訪は受講生を募集していたが、  
新型コロナウイルス感染拡大により中止となった。

講 座・イベント名	実 施 日	内 容	参加人数
はにわの箸置きを作ろう	7/21 (水)	オープン陶土を用いた箸置き作り	6人
埋文ジグソーを作ろう	7/28 (水)	埋文スタンプを使ってジグソーパズル作り	8人
はにわの消しゴムを作ろう	7/30 (金)	ねんど消しゴムのはにわ作り	7人
ハンペルマン、引っ張ると おどる人形を作ろう	8/4 (水)	動く仕掛け人形作り	6人
らでんのキーホルダー	8/6 (金)	らでん細工によるキーホルダー作り	6人
光る粘土のはにわ作り	8/12 (木)	蛍光粘土を用いたはにわ作り	6人
らでん細工のコンパクトミラー	10/14 (木)	らでん細工によるコンパクトミラー作り	7人
はにわの箸置き作り	10/21 (木)	オープン陶土を用いた箸置き作り	6人
ミニチュアの古代鏡作り	10/28 (木)	低融点合金を用いたミニチュア鏡作り	2人
秋の考古学講座 「縄文時代をひも解く」	11/20 (土)	貝塚からさぐる縄文人の暮らし	26人
〃	11/27 (土)	自然の中で生きる縄文時代の暮らし	23人
〃	12/4 (土)	縄文時代の狩猟と漁撈	25人

- (2) 出前講座等講師派遣 さざなみ学習等、延べ2回の派遣。延べ参加人数39人。

派 遣 内 容	開 催 日	依 頼 団 体	参加人数
さざなみ学習（地域学習）	7/13 (金)	南浦小学校	9人
博物館実習	7/28 (水)	倉敷芸術科学大学	30人

- (3) 報告書等の刊行

倉敷埋蔵文化財センター年報18  
A 4 判 本文51頁 500部 令和4年3月刊行

- (4) 写真等の掲載許可

許 可 日	資 料 名・数 量	許 可 先	掲 載 物
6/17 (木)	竜形土製品 写真 1点	(有) ブックポケット	『日本妖怪史(仮)』(河出書房新社刊)
7/17 (土)	中津貝塚土壙墓2 写真 1点	岡山県古代吉備文化 財センター	発掘調査報告会「大地からの便り 2021」におけるポスターやチラシ
1/5 (水)	磯の森貝塚貝層 写真 1点	岡山県古代吉備文化 財センター	『おかやま☆遺跡探訪』

(5) 資料の貸出

貸出期間	資料名	貸出先	使用目的
5/18 (火) ~ 7/27 (火)	寒田窯跡群4号出土 須恵器蓋坏片 12点 実測・拓本用具 一式	岡山商科大学 経営学部 学芸員課程	博物館実習の授業 で使用するため
6/8 (火) ~ 7/27 (火)	池尻遺跡出土 石鏃 12点	岡山商科大学 経営学部 学芸員課程	博物館実習の授業 で使用するため
10/6 (水) ~ 2022/2/27 (日)	朝原寺出土鬼瓦 1点 秦原廃寺出土 蓮華文鬼板 1点	(公財) 倉敷考古館	令和3年度企画展「吉備の鬼 がたり」にて展示するため
11/11 (木) ~ 11/30 (火)	弥生土器複製品 14点 まいぎり 5セット 赤米サンプル 1組 竹製食器 28個 サヌカイト製ナイフ 10点	真庭市地域おこし協 力隊	「いにしえ体験講座」で使用 するため

### 3 利用者数

展示・講座等を含めた令和3年度の利用者数は下表のとおりである。総利用者数は4,822人で、昨年度の5,120人を下回り、一昨年度(15,236人)の三分の一以下となった。新型コロナウイルス感染拡大に伴う3回の臨時休館が大きく影響している。

《令和3年度月別利用者数》

月	団体数	来館者数	講座等	利用者数計	開館日数	1日平均利用者数
4		228		228	26	9
5		98	8	106	11	10
6	2	265	60	325	8	41
7	3	678	37	715	27	26
8		965		965	16	60
9			6	6	0	—
10	4	435		435	27	16
11	6	1,036	49	1,085	25	43
12		338	25	363	23	16
1		156		156	23	7
2		1	6	7	3	2
3		431		431	21	21
合計	15団体	4,631人	191人	4,822人	210日	23人

## Ⅲ 教育普及事業報告

### 1 夏休み体験講座

～埋文ジグソーを作ろう～

日 時 令和3年7月28日(水)  
講 師 内田智美(倉敷埋蔵文化財センター)  
対 象 小学4～6年生  
参加者 8人

消しゴムハンコを無地のパズルに自由に押してオリジナルのパズルに仕上げる講座。ハンコは埴輪・土偶・土器などの11種類を用意した。始めにレイアウトを考えるように説明したが、子どもたちには難しいようで決まるまでに時間がかかった。ハンコを押した後の色塗りのスピードにも個人差があり、予定通りに仕上げるできない子もいたが、オリジナルのパズルができたと喜んでいるようだった。



### 2 秋の考古学講座

～縄文時代をひも解く～

日 時 令和3年11月20日・11月27日・12月4日(土)  
講 師 第1回 小野雅明(倉敷埋蔵文化財センター)  
「貝塚からさぐる縄文人の暮らし」  
第2回 山本悦世(岡山大学埋蔵文化財調査研究センター)  
「自然の中で生きる縄文時代の暮らし」  
第3回 富岡直人(岡山理科大学生物地球学部)  
「縄文人の狩猟と漁撈」  
会 場 ライフパーク倉敷「視聴覚ホール」  
対 象 一般  
参加者 74人(延べ人数)

今年度は、縄文人の暮らしや文化をテーマに3回連続の講座を実施した。

第1回は、倉敷市が令和2年度まで確認調査を実施していた中津貝塚の調査成果を中心に、近年の貝塚調査からわかってきた縄文人の生活について講演を行った。第2回は、縄文時代の気候変動に伴う地形や環境の変化により、縄文人の生活や社会がどのように変化していったのかについて、主に遺跡の分布やあり方から解説をしていただいた。第3回は、縄文時代を特色づける狩猟と漁撈について、貝塚などから出土する動物遺存体や人骨の説明も行いつつ、時にユーモアを交えながらお話をしていただいた。コロナ禍で募集人数を絞っての開催であったが、毎回講演後に多くの質問が出るなど、皆熱心に受講していた。





## Ⅳ 調査事業報告

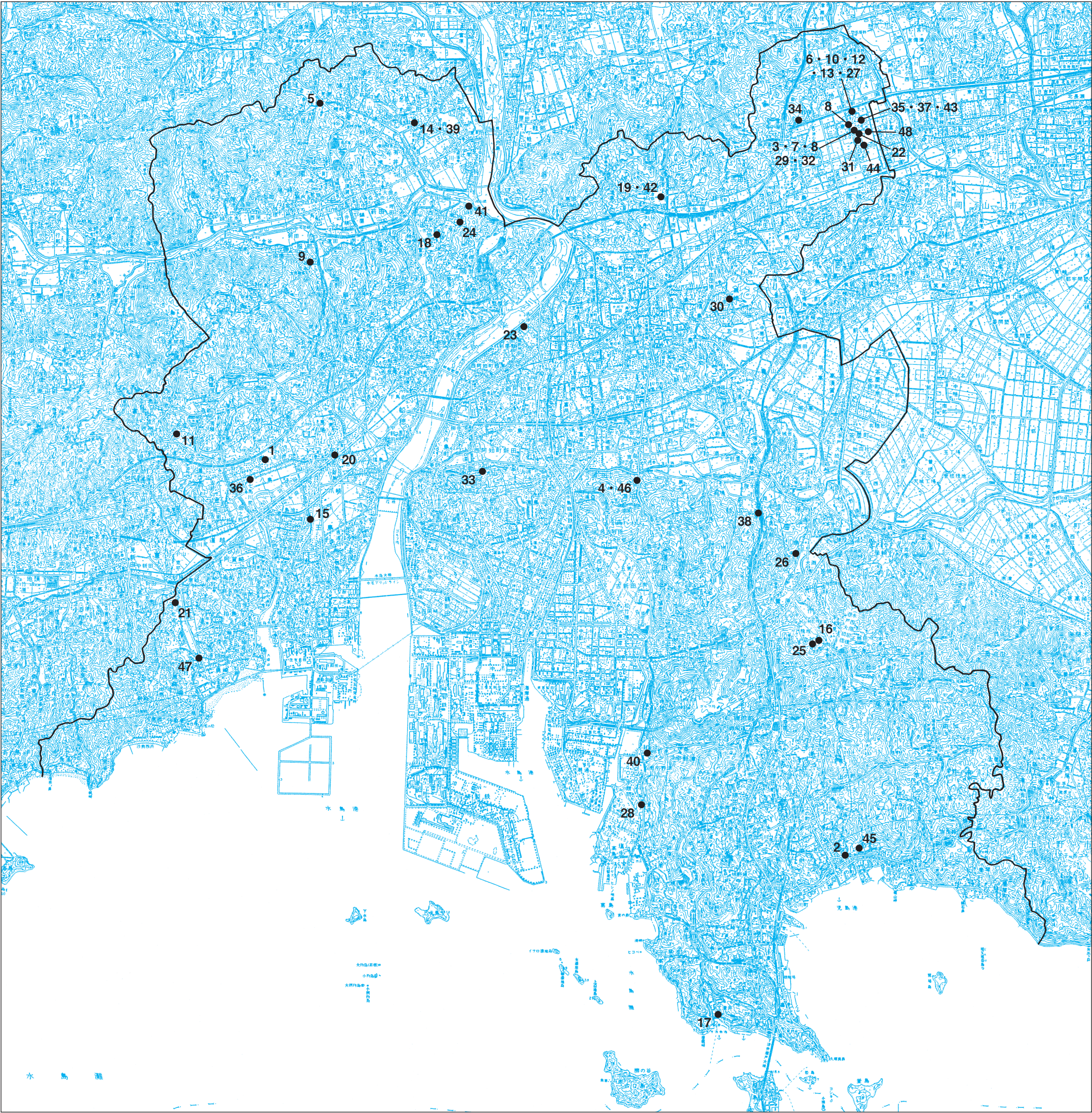
令和3年度調査一覧表

No.	遺跡名	該当地	調査原因	区 別	調査期間	調査結果
1	亀山遺跡	玉島八島	個人住宅建築工事	立 会	21.04.21	遺物・遺構なし
2	鴻八幡宮馬場遺跡	児島下の町	下水道管改良工事	〃	21.04.27	〃
3	上東遺跡	上東	個人住宅建築工事	〃	21.05.26	〃
4	新吉岡橋南遺跡	黒石	溜池廃止工事	〃	21.05.28	〃
5	桜城跡	真備町市場	畑地造成工事	〃	21.06.01	土塁
6	上東遺跡	上東	個人住宅建築工事	〃	21.06.15	遺物・遺構なし
7	上東遺跡	上東	個人住宅建築工事	〃	21.06.22	〃
8	上東遺跡	上東	個人住宅建築工事	〃	21.06.29	〃
9	久能遺跡	真備町服部	個人住宅建築工事	〃	21.07.01	〃
10	上東遺跡	上東	個人住宅建築工事	〃	21.07.01	〃
11	雁ヶ谷下池遺跡	玉島道口	農道改良工事	確 認	21.08.03	〃
12	上東遺跡	上東	個人住宅建築工事	立 会	21.08.06	〃
13	上東遺跡	上東	個人住宅建築工事	〃	21.08.17	〃
14	岡田藩陣屋跡	真備町岡田	学校トイレ改修工事	〃	21.08.24	〃
15	七島東貝塚	玉島八島	水道管埋設工事	〃	21.08.26	〃
16	下山田遺跡	林	配水管移設工事	〃	21.09.09	〃
17	古下津井遺跡	下津井2丁目	電柱建替工事	〃	21.09.15	製塩土器片
18	勢亡遺跡	真備町下二万	道路改良工事	〃	21.10.01	遺物・遺構なし
19	原津遺跡	西坂	電柱建替工事	〃	21.10.05	〃
20	長尾神社南遺跡	玉島長尾	水道管埋設工事	〃	21.10.06	〃
21	西元浜貝塚	玉島黒崎	範囲確認調査	確 認	21.10.19～ 21.10.23	縄文土器・石器
22	上東遺跡	上東	個人住宅建築工事	立 会	21.10.23	遺物・遺構なし
23	水江遺跡	水江	電柱新設工事	〃	21.10.26	〃



No.	遺跡名	該当地	調査原因	区 別	調査期間	調査結果
24	内出 1 号墳	真備町下二万	範囲確認調査	確 認	21.10.26 ~ 21.11.26	竪穴式石槨・埴輪
25	下山田遺跡	林	下水管埋設工事	立 会	21.11.02	遺物・遺構なし
26	大坪遺跡	串田	個人住宅建築工事	〃	21.11.12	〃
27	上東遺跡	上東	個人住宅建築工事	〃	21.11.17	〃
28	金浜遺跡	児島塩生	電柱建替工事	〃	21.12.01	〃
29	上東遺跡	上東	電柱新設工事	〃	21.12.04	〃
30	黒崎貝塚	黒崎	個人住宅建築工事	〃	21.12.07	〃
31	上東遺跡・ 平松城跡	上東	宅地造成工事	確 認	21.12.09	Pit・中世土器片
32	上東遺跡	上東	個人住宅建築工事	立 会	21.12.14	遺物・遺構なし
33	北面丸山貝塚群 第 8 群	連島町連島	配水管改良工事	〃	21.12.17	〃
34	岩部奥池東遺跡	二子	水路改修工事	〃	21.12.22	〃
35	上東遺跡	上東	個人住宅建築工事	〃	21.12.22	〃
36	浜遺跡	玉島八島	宅地造成工事	確 認	22.01.12	〃
37	上東遺跡	上東	個人住宅建築工事	立 会	22.01.13	〃
38	舟津原西方貝塚	粒江	電柱新設工事	〃	22.01.20	〃
39	岡田藩陣屋跡	真備町岡田	避難地整備工事	確 認	22.02.02 ~ 22.02.03	瓦片・陶磁器片
40	宇野津遺跡	児島宇野津	道路改良工事	立 会	22.02.15	遺物・遺構なし
41	南山北 7・8 号墳	真備町川辺	墳丘測量調査	測 量	22.02.15・ 22.02.16	測量図作成
42	原津遺跡	西坂	道路改良工事	立 会	22.02.18	遺物・遺構なし
43	上東遺跡	上東	ガス管埋設工事	〃	22.02.22	〃
44	平松城跡	下庄	水路改修工事	〃	22.02.25	〃
45	堀江遺跡	児島下の町	配水管埋設工事	〃	22.02.26	〃
46	新吉岡橋南遺跡	黒石	ドッグラン造成工事	確 認	22.03.02	〃
47	正保堤	玉島黒崎	個人住宅建築工事	立 会	22.03.05	〃
48	下庄遺跡	上東	個人住宅建築工事	〃	22.03.11	〃





調査地点位置図 (S=1/100,000)



## さくら 桜城跡立会調査報告 (一覧表 No.5)

調査位置	倉敷市真備町市場地内		
調査原因	畑地造成工事	調査面積	7m <sup>2</sup>
調査期間	21.06.01	調査担当	藤原・鍵谷

**調査地の概要** 桜城跡は小田川の支流である末政川北岸に形成された河岸段丘を利用した、一辺70m程の方形居館跡と推定される。現状では北側と東側は周囲よりわずかに高くなっている程度であるが、南側は末政川の浸食による段丘崖で区画され、西側は北方に位置する千切池からの用水路で区切られている。この用水路に沿う辺には、土塁跡と推定される高まりがあり、一部が途切れて食い違い小口状を呈している。南の高まりは墓地となり、北側は竹藪となっている。「備中誌」には城主として桜喜右衛門武定の名が見えるが、詳細は不明である。また、近世には瑞松院という寺院があったが、廃寺となり、現在は小さな祠と石造物が残っている。

**調査の概要** 調査は、畑地造成の際に竹を抜根しようとして削られた土塁断面の土層観察を中心に実施した。土塁は城館推定範囲の西側に存在し、北側から削られ、断面が露出している。断面の高さは約2.5m、底部幅約6mである。竹の根等の浸食が著しく、本来の形状は不明確であるが、表土(1層・腐植土)や流土(2層)が厚く堆積していることから、元々はさらに高かったものと推定される。3層以下が盛土で、3～6層と7～12層の2つに大きく分けることができる。3～6層は浅黄色～明黄褐色土が主体で、ブロック状に褐灰色の土が混ざっている。西寄りが高く、東側が低くなっているが、城館の内側に当たる部分に犬走りなどがあった名残なのか、後世の改変かは不明である。7～12層は主に明黄褐色～黄褐色土と灰色土の互層である。厚さ約30cm毎に水平を意識しながら盛られているようである。この30cmの単位の中では土層が西側に向かって傾斜しており、内側から積まれていったことがわかる。また、灰色土の中には木炭粒や土師質土器の細片が含まれていた。なお、造成による掘削は東側の畑と同じ高さまでで終わっており、地山には達していない。

削られた土塁の南側は長さ約10m程が残存し、一度途切れてさらに南側にも土塁が存在する。南側の土塁は頂部を墓地として利用されており、北側の土塁との間は食い違い小口状を呈している。なお、地権者からの聞き取りでは、この小口状の部分から西へは用水路にかけられた橋を利用して出入りしていたとの

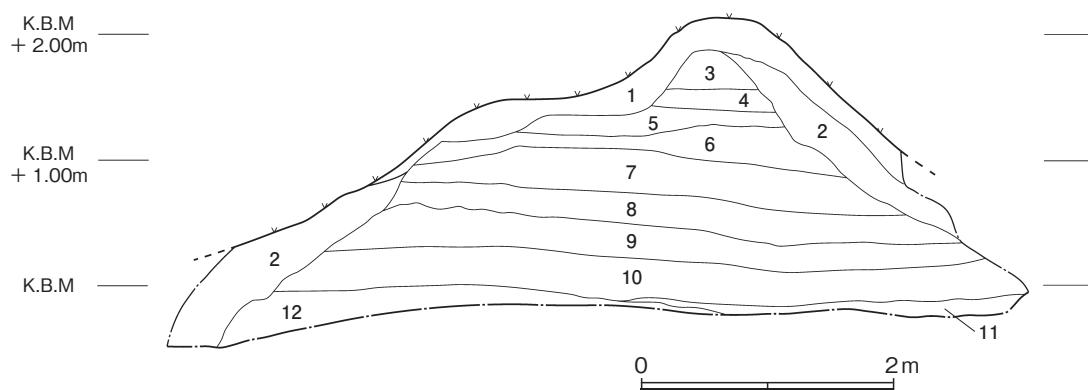


調査地位置図 (S=1/5,000)

ことである。

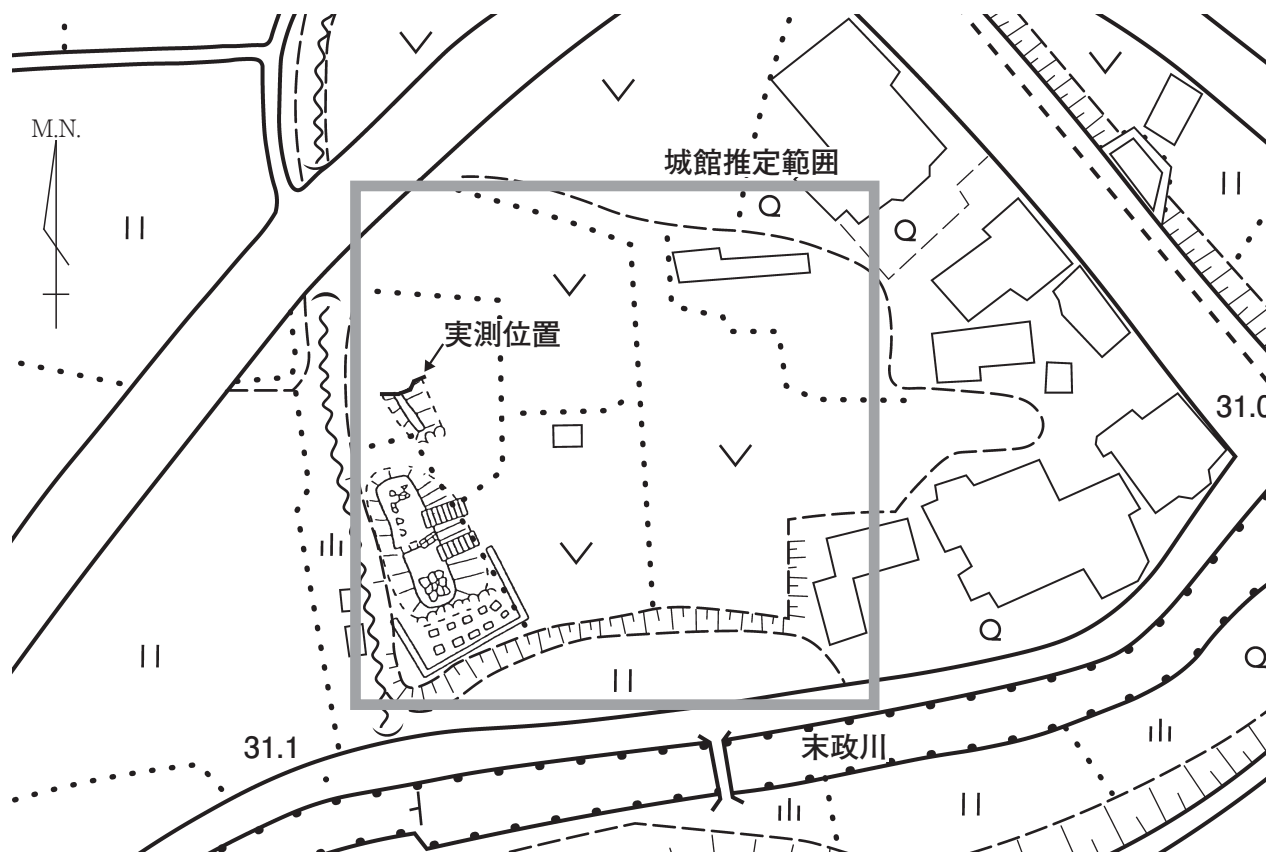
今回の調査では時期のわかるような遺物は確認できていないが、伝承並びに規模・形状などから中世城館の土塁として間違いないと考えられ、地域の歴史を考える上で貴重なものである。（藤原）

参考文献 和田 剛「280 桜城跡」『岡山県中世城館跡総合調査報告書 第2冊 - 備中編 -』岡山県教育委員会 2020



- |                    |     |   |
|--------------------|-----|---|
| 1 褐灰色土 (7.5YR4/1)  | 腐植土 | 7 明黄褐色土 (10YR7/6) と灰色土 (5Y4/1) の互層                  |
| 2 浅黄色砂質土 (2.5Y7/4) | 流土  | 8 橙色土 (7.5YR6/6) と灰色土 (5Y4/1) の互層                   |
| 3 浅黄色土 (2.5Y7/4)   |     | 9 橙色土 (7.5YR6/6) と灰色土 (5Y4/1) の互層                   |
| 4 明黄褐色土 (10YR7/6)  |     | 10 黄褐色土 (2.5Y5/3) ・ 灰色土 (5Y4/1) ・ 黄色土 (2.5Y8/6) の互層 |
| 5 明黄褐色土 (10YR7/6)  |     | 11 黄褐色土 (2.5Y5/4) と灰色土 (5Y4/1) の互層                  |
| 6 明黄褐色土 (10YR7/6)  |     | 12 黄褐色土 (2.5Y5/3) と灰色土 (5Y4/1) の互層                  |

土塁断面図 (S = 1/60)



土塁実測位置図 (S = 1/1,000) 和田 2020 を改変

かりがだにしもいけ  
**雁ヶ谷下池遺跡確認調査報告** (一覧表 No.11)

調査位置 玉島道口1696番外

調査原因 農道改良工

調査期間 21.08.03

調査面積 8㎡

調査担当 藤原・鍵谷

**遺跡の概要** 倉敷市玉島道口に所在する雁ヶ谷下池遺跡は、弥生時代の散布地として、倉敷市遺跡地図に記載されている。西の遙照山から南東に延びる尾根筋が複雑に拵がった、標高45m程の一支尾根上に立地している。最高所の果樹畑には小屋が建っており、1998年の分布調査の際には小屋のすぐ西側でサヌカイトの剥片を採取している。周辺には、弥生中期の土器や銅鏃等が採集された平松遺跡をはじめとする弥生時代の遺跡が多く所在しているが、本遺跡についてこれまでに発掘調査等が行われたことはなく、詳細は不明である。

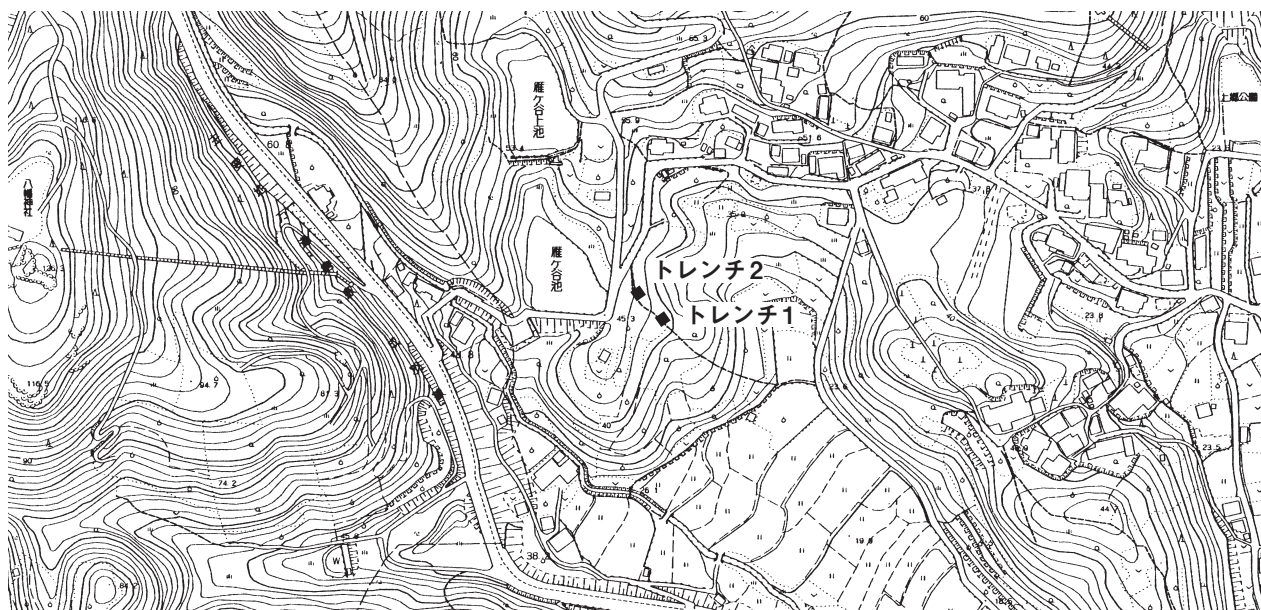
**調査の概要** 調査地は果樹園に接する農道(未舗装)であり、2×2mのトレンチ2か所を設定し、土層観察を中心に調査を実施した。

**トレンチ1** 調査地の南東下方に設定したトレンチである。農道の造成土の下に、厚さ10cm程の礫を多く含む層(明黄褐色土)があり、その下は地山(浅黄橙色土)である。礫を多く含む明黄褐色土は、地山の可能性が高いが、上方の地山を削って押し出した造成土の可能性もある。遺物・遺構は検出されなかった。

**トレンチ2** 調査地の北西上方に設定したトレンチである。厚さ20cm程の農道造成土の下は、やはり厚さ10cm程の古い農道の造成土(にぶい黄褐色土)があり、その下が地山(明黄褐色土)となる。造成土上面から掘り込まれた攪乱坑が認められたが、遺物や遺跡に伴う遺構は確認されなかった。

今回の調査では、造成土の下からすぐに地山が検出され、遺物や遺構が確認されなかったことから、調査地付近まで遺跡が及んでいなかったか、あるいは開墾等によって既に削平されてしまったものと考えられる。

(藤原)



トレンチ位置図 (S=1/5,000)



# じょうとう ひらまつ 上東遺跡・平松城跡確認調査報告 (一覧表 No.31)

調査位置	上東字オノ木16番7の一部外		
調査原因	宅地造成工事	調査面積	4 m <sup>2</sup>
調査期間	21.12.09	調査担当	藤原・鍵谷

**遺跡の概要** 上東遺跡は倉敷市の北東端、足守川の河口域に位置する弥生時代後期を中心とする集落跡で、今回の調査地点は遺跡の南端部分にあたる。また、中世城館である平松城跡については、庄村誌などに記載があるものの詳しい内容についてはわかっていない。

**調査の概要** 調査対象地は、倉敷市庄支所の南約120mの水田(約500m<sup>2</sup>)で、工事予定地のほぼ中央に、2×2mのトレンチを1か所設定して調査を行った。

トレンチの土層は、上から耕作土、明黄褐色土、褐灰色土、にぶい黄橙色土、褐灰色土となっており、いずれの層にも土器片等の遺物は含まれておらず、明黄褐色土層以下は自然堆積層と思われる。なお、この明黄褐色土層はマンガン粒を多く含み、上東遺跡における微高地の基盤層である可能性が高い。また、地表下約60cm以下のにぶい黄橙色土層、褐灰色土層では粘質が強くなっており、これより下ではシルト層へ変わるものと思われる。

遺構としては、トレンチ中央部の南壁付近でピット1基を確認した。ピットは水田面により上部が削平されており、その一部は南壁にかかった状態で検出された。確認時の形状は、26×16cmの楕円形を呈し、中央には柱痕と思われる径約15cmの淡黒褐色土が認められた。埋土からは土師質の皿・碗の小片が出土しており、時期は中世と考えられる。

今回の調査の結果、当該地付近では水田の地下げにより微高地の一部が既に削平を受けているものの、基盤層に掘り込まれた遺構の一部は残存している状況であることが明らかとなった。(鍵谷)



トレンチ位置図 (S=1/5,000)

おかだはんじんや  
**岡田藩陣屋跡確認調査報告** (一覧表 No.39)

調査位置	真備町岡田576-2外		
調査原因	避難地整備工事	調査面積	10㎡
調査期間	22.02.02～22.02.03	調査担当	藤原・鍵谷

**遺跡の概要** 備中岡田藩は、外様大名伊東氏が10代にわたって藩主を務め、その陣屋は約200年間、現在の市立岡田小学校の敷地を中心とする場所に置かれた。陣屋跡の詳しい内容については明らかでないが、藩邸の囲炉裏端や井戸であったとされるものが現在校庭内に残されている。

**調査の概要** 調査対象地は岡田小学校の南に隣接する土地約3,300㎡で、現況で西から東へかけて三段になっていたため、各段にトレンチを1か所設定し調査を行った。

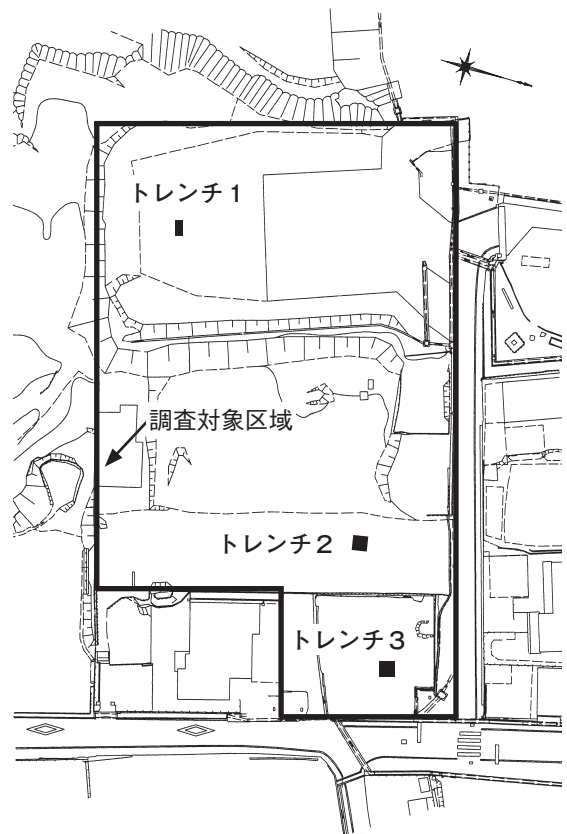
真砂土で整地されている最上段の部分にトレンチ1 (2×1m) を設定した。土層としては、地表下約50cmまでは駐車場の造成土で、その下は2層の薄い自然堆積層を挟んで、地表下約60cmで地山となる。遺構としては、下層の自然層から地山まで掘り込むかたちで、幅約1m、深さ約45cmの土坑1基を検出した。埋土からは少量の瓦片及び陶磁器片が出土しており、おおむね近世から近代にかけての遺構と思われる。

二段目の北東よりに設定したトレンチ2 (2×2m) では、近代から近代にかけての造成土7層が地表下約1.4mまで厚く堆積していた。その下には、厚さ10cm程度のにおい黄橙色土層がみられるが、造成土とは違いほぼ水平に堆積しており、土の汚れも少なく均質であることから、近世における生活面(地表)であった可能性が考えられる。この下の最下層は地山に似ているものの、締まりが悪く拳大の淡黒色土を多く含んでおり、陣屋の造成に伴う土層と思われる。遺物としては、近現代の造成土以外からはほとんど出土しなかった。

調査対象地の東端にあたる最下段にトレンチ3 (2×2m) を設定した。土層としては、地表下約60cmまでは現代の造成土および攪乱土で、その下には近世以降の造成土が30cm程度認められ、陣屋の造成に伴う土層の可能性もある。この下2層は粘質を帯びた自然堆積層で、いずれも青灰色系を呈していることから、近世以前においてトレンチ3付近は一定期間湿地状を呈していたものと思われる。

以上のように、今回の調査では陣屋跡に伴うと思われる重要な遺構や遺物は確認できなかった。また、トレンチ2及び3の土層の状況から、このあたりは近世以降比較的大きな規模の造成が行われていることが明らかとなった。

(鍵谷)



トレンチ位置図 (S=1/1,000)

# 南山北古墳群測量調査報告 (一覧表 No.41)

調査位置 真備町川辺2767 番外

調査原因 墳丘測量調査

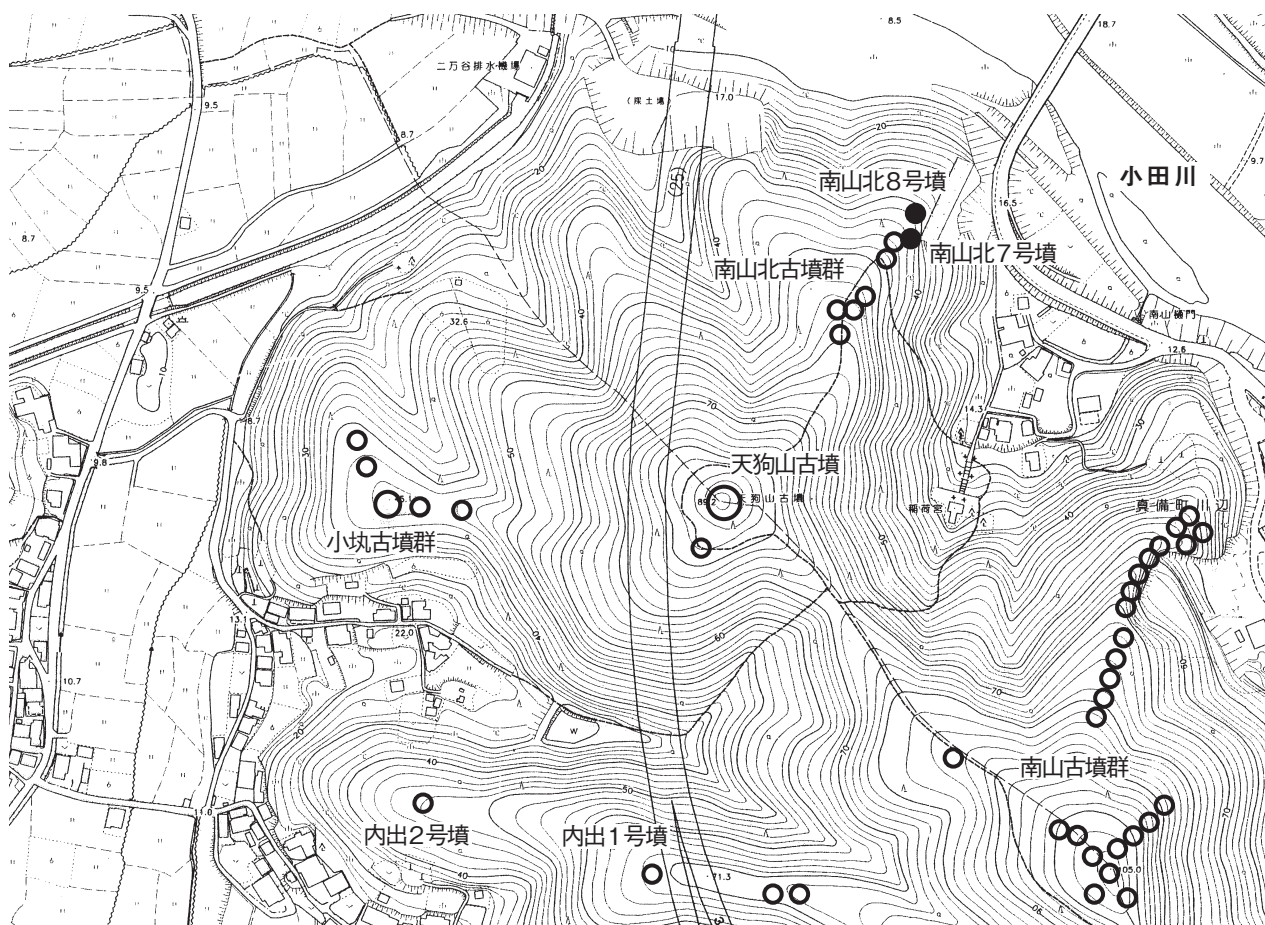
調査面積 1,000 m<sup>2</sup>

調査期間 22.02.15～22.02.16

調査担当 藤原

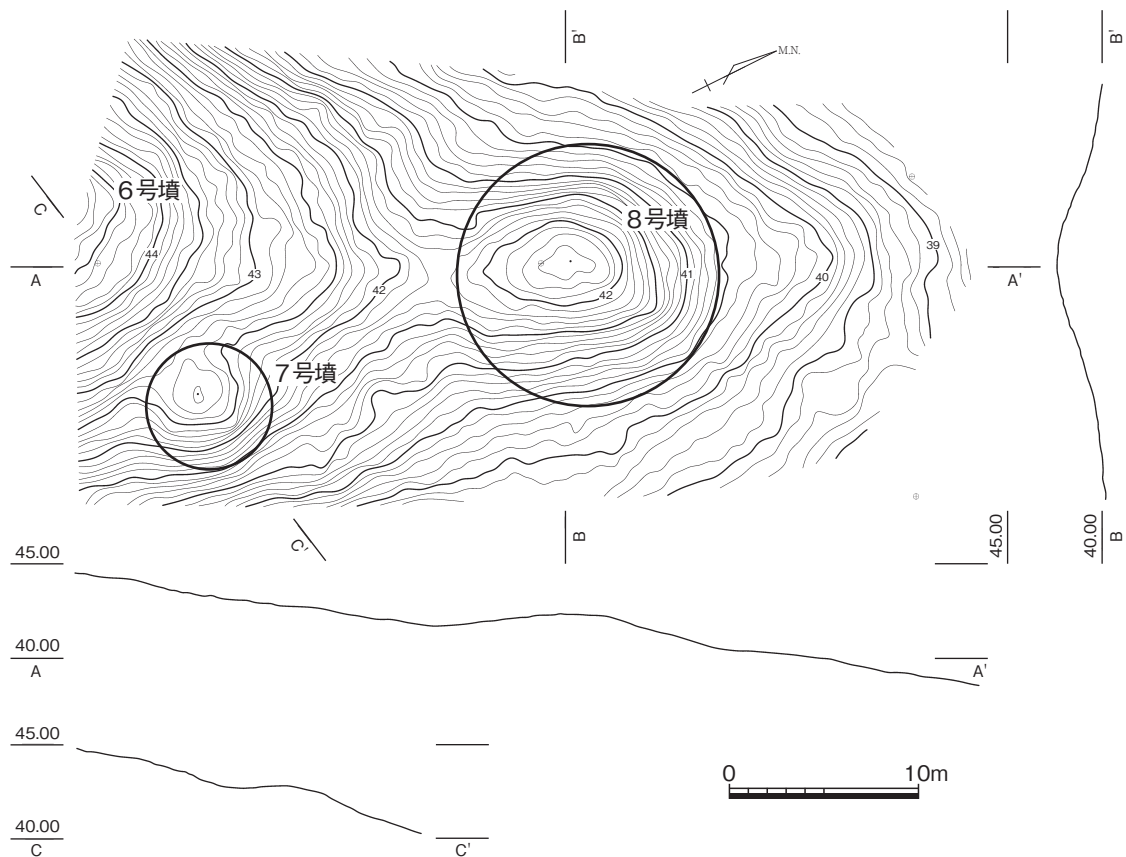
**遺跡の概要** 南山北古墳群は、高梁川と小田川の合流点の西側に位置する標高120m 程の南山から北に向かって伸びる一支尾根上に所在している。周濠・周堤を備えた墳長60mの帆立貝形前方後円墳である天狗山古墳(標高約88m) から北東に150mほど下った所に位置する1号墳は一辺十数mの方墳と推定される。1号墳の南東側斜面に径10m 程の小古墳が3基(2～4号墳) ほどあり、さらに北東に下った尾根上に5～8号墳が立地している。これらの古墳が古墳時代中期末の高梁川西岸に突如として出現した天狗山古墳に先行して築かれたものか、あるいは同時期に階層差をもって築かれたのかを解明することは、後に吉備真備を輩出する下道氏の台頭ひいては倉敷市真備町地域の歴史を考える上で重要な点である。また、8号墳については、山側に前方部を向けた小規模な前方後円墳ではないかという意見もあり、そうであれば市内でも数少ない前方後円墳の一例としても貴重である。

**調査の概要** 古墳群全体を一度に測量するには経費的な問題もあったことから、今年度は古墳群の中でも最も尾根の先端近くに位置する7・8号墳を中心に測量を実施した。実際の作業は業者委託し、地上設置型三次元レーザー測量によって平面図(等高線図)・断面図を作成した。



位置図 (S=1/5,000)





墳丘平面・断面図 (S=1/400)

測量の結果、7号墳は径7～8m程の円墳であり、8号墳は径15m程の円墳か方墳である可能性が高くなった。7号墳は北東に突出する尾根の東側に築かれた山寄せの円墳で、西側に周溝を巡らせている。墳頂部は標高42.81m、墳端は明瞭ではないが、断面図を見ると標高41m付近にわずかな傾斜変換が認められることから、径7～8mと判断した。石材などは確認できず、主体部は不明である。



8号墳墳丘 (南から)

8号墳は尾根筋に位置し、墳頂部は標高42.37m、墳端は北側で傾斜変換のある標高40.5m付近、南側では標高45.8m付近が想定された。東側と西側は明瞭な傾斜変換がなくややわかりにくい、標高40.5m付近が墳端と推定される。現状の墳形は長軸の長さが15mほどの楕円形のように見えるが、東側と西側の等高線は直線的であり、方墳の可能性も否定できない。ただ、東側については後世の削平を受けている可能性があり、慎重な検討を要する。また、2008年の分布調査時の所見では、南側の6号墳との間に若干の高まりが認められ、前方部か別の古墳がある可能性が指摘されており、前方後円墳の可能性も考えられたが、測量図ではその存在を確定できなかった。段築や葺石なども確認できず、埴輪についても今回は採取されなかった。

(藤原)

## 新吉岡橋南遺跡確認調査報告 (一覧表 No.46)

調査位置 黒石字水谷 1133 番 2 外

調査原因 ドッグラン造成工事 調査面積 8 m<sup>2</sup>

調査期間 22.03.02

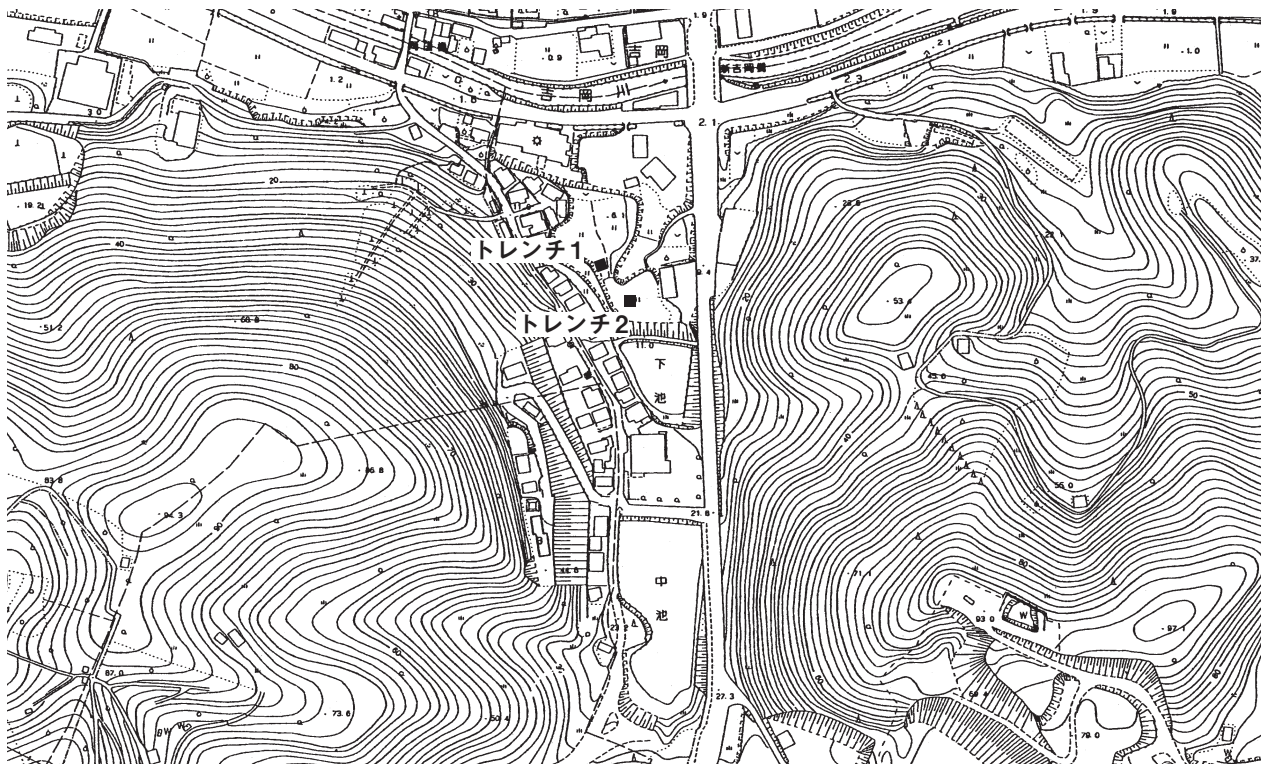
調査担当 藤原・鍵谷

**遺跡の概要** 新吉岡橋南遺跡は、倉敷駅から南下する県道古城池霞橋線が市街地を抜け、山裾にかかったところに位置する。この県道が開通する以前、「下池」北の山裾斜面で師楽式製塩土器を多く含む包含層が確認できるとの記録が残るが、その場所については現在不明で、近年における付近の立会調査等においても土器片や包含層などは確認されていない。

**調査の概要** 調査は、開発区域である谷の西側斜面の水田にトレンチ2か所を設定して行った。トレンチ1の土層は、上からドッグラン造成土・水田耕作土と続き、この下は、鉄分及びマンガン粒を含む灰色系の土層を2層挟んで、耕作土下約35cmで拳大の角礫を多く含むにぶい黄橙色土となる。この層は地形に沿って東に向けて傾斜しており、地山と思われる。いずれの層からも遺物・遺構等は確認されなかった。トレンチ2の土層は、上部がトレンチ1と同様の造成土及び水田耕作土で、この下は浅黄色の硬質土を挟んで、マンガン分の沈着が強い暗黄灰色土となる。最下層は粘質の強い黄灰色土で、この層からは湧水が認められた。トレンチ1と同様、トレンチ2においても遺物・遺構等は確認されなかった。

以上のように、今回の調査では遺跡の存在を示すものは確認できなかったが、設定したトレンチがどちらも谷の西側斜面に位置することから、東側斜面を中心とする部分に遺跡が残存する可能性はあると思われる。

(鍵谷)



トレンチ位置図 (S=1/5,000)

## V 寄贈図書一覧 (2021.4.1～2022.3.31)

<b>北海道</b>	
斜里町教育委員会	史跡チャシコツ岬上遺跡保存活用計画
<b>岩手県</b>	
北上市立埋蔵文化財センター	北上遺跡(2017・2019年度)、大堤東遺跡(2019年度)、里分遺跡(2019年度) 藤沢遺跡Ⅴ(1997・98年度)、北上市内試掘調査報告(2019年度)、北上市埋蔵文化財年報(2019年度)
岩手大学平泉文化研究センター	岩手大学平泉文化研究センター年報 第9集
<b>山形県</b>	
東北芸術工科大学芸術学部歴史遺産学科	歴史遺産研究 第15号
<b>茨城県</b>	
筑波大学歴史・人類学専攻	筑波大学 先史学・考古学研究第32号
<b>埼玉県</b>	
埼玉県教育委員会	埋文さいたま 第64号・第65号
<b>千葉県</b>	
千葉市埋蔵文化財調査センター	千葉市昭和の森遺跡群Ⅲ、埋蔵文化財調査(市内遺跡)報告書-令和2年度-、千葉市高品城跡Ⅱ、千葉市築地貝塚、埋蔵文化財調査(市内遺跡)報告書-令和3年度-、加曽利貝塚 国特別史跡指定記念シンポジウム
(公財)千葉市教育振興財団	千葉市内出土考古資料優品展、千葉市作山古墳群(第2次)
国立歴史民俗博物館	国立歴史民俗博物館研究報告 第223集～第232集、令和3(2021)年度 要覧
<b>東京都</b>	
宮内庁書陵部	書陵部紀要第72号・第72号(陵墓篇)
文化庁	地方における文化行政の状況について(令和元年度)、埋蔵文化財関係統計資料
早稲田大学考古学会	古代第148号
青山学院大学文学部史学科研究室	青山史学 第三十九号
<b>富山県</b>	
小矢部市教育委員会	桜町遺跡発掘調査報告書、芹川遺跡発掘調査報告書Ⅴ
<b>長野県</b>	
長野県立歴史館	長野県立歴史館たより vol.107～vol.110、全盛期の縄文土器-圧倒する褶曲文-
<b>静岡県</b>	
静岡県埋蔵文化財センター	ふじのくに考古通信 Vol.21・Vol.22
伊東市教育委員会	市内遺跡試掘・確認調査報告書
<b>愛知県</b>	
(公財)瀬戸市文化振興財団	(公財)瀬戸市文化振興財団埋蔵文化財センター研究紀要第23輯
南山大学人類学博物館	南山大学人類学博物館紀要第40号
<b>三重県</b>	
鈴鹿市考古博物館	鈴鹿市考古博物館年報第22号、伊勢国府跡23、須賀遺跡(第7次)、磐城山遺跡(第9・10次)発掘調査報告書
<b>滋賀県</b>	
守山市立埋蔵文化財センター	令和元(平成31)年度国庫補助対象遺跡発掘調査報告書、下之郷遺跡確認調査報告書Ⅱ
東近江市埋蔵文化財センター	東近江市埋蔵文化財調査報告書第40集・第41集、雪野山古墳の全貌
(公財)滋賀県文化財保護協会	おうみ文化財通信 Vol.47～50、紀要 第34号、縄文人のアートとキッチン
(公財)栗東市スポーツ協会	はくつ2020-栗東市話題の発掘調査-、栗東市歴史文化資産 椿山古墳、栗東市埋蔵文化財調査報告 2019(令和元)年度年報、野尻遺跡発掘調査報告書 平成29年度2次調査、高野遺跡発掘調査報告書 令和元年度1次調査、小柿遺跡発掘調査報告書 令和2年度1次調査、高野遺跡発掘調査報告書 平成31年度1次調査、小柿遺跡発掘調査報告書 令和元年度2次調査、蜂屋・益尺寺遺跡発掘調査報告書 令和元年度2次調査



野洲市教育委員会	令和2年度野洲市埋蔵文化財調査概要報告書、令和3年度野洲市内遺跡発掘調査年報
滋賀県文化スポーツ部	小比江遺跡、久野部遺跡、脇館遺跡、松原内湖遺跡、安城寺遺跡 中畑・古里遺跡 斎ノ神遺跡 三上遺跡 三上西ノ川原遺跡、滋賀県内遺跡発掘調査報告書
日野町教育委員会	日野町内遺跡発掘調査報告書
竜王町教育委員会	竜王町内遺跡発掘調査概要報告書 平成30年度、令和元年度
滋賀県立安土城考古博物館	おおてみち第115号～第118号
滋賀県立大学人間文化学部	人間文化51号・52号
<b>京都府</b>	
(公財) 京都府埋蔵文化財調査研究センター	京都府埋蔵文化財情報第140号・第141号、もっと知りたい京都の遺跡第9号
(公財) 向日市埋蔵文化財センター	年報 都城33
京都府教育庁	金比羅山古墳発掘調査報告書、京都府埋蔵文化財調査報告書(令和2年度)
京都市文化芸術都市推進室	京都市内遺跡発掘調査報告 令和2年度、京都市内遺跡詳細分布調査報告 令和2年度、京都市内遺跡試掘調査報告 令和2年度、史跡 西寺跡発掘調査総括報告書、指月城跡・伏見城跡発掘調査総括報告書
与謝野町教育委員会	令和2年度与謝野町国庫補助事業発掘調査報告書
南丹市立文化博物館	南丹市立文化博物館だより第17号、岩崎革也宛書簡集Ⅳ、岡村宇太郎・花鳥・動物画の魅力 -、鉄道と観光 - 地域をむすぶ交通 -、森と共に生きる - 知井地区を中心に -、南丹の災害史 江戸時代から現在まで - 体験と記録で学ぶ -
(公財) 京都市埋蔵文化財研究所	円勝寺跡・成勝寺跡・白河街区跡・岡崎遺跡、平安京右京九条二坊四・五町跡、唐橋遺跡、富ノ森城跡、平安京左京九条三坊八町跡・烏丸町遺跡、平安京左京四条一坊跡、平安宮内裏跡・聚楽第跡、寺町旧域(妙満寺跡・本能寺跡)、平安京右京六条一坊三町跡・御土居跡、平安京右京三条二坊十四町跡・西ノ京遺跡、平安京右京三条一坊六・七町跡・壬生遺跡、史跡賀茂別雷神社境内、円勝寺跡・成勝寺跡・白河街区跡・岡崎遺跡、室町殿跡・上京遺跡、白河街区跡・吉田上大路町遺跡、平安宮中和院跡・聚楽遺跡、日野谷寺町遺跡、山科本願寺跡
京都橘大学	京都橘大学大学院研究論集 第19号
<b>大阪府</b>	
高槻市立埋蔵文化財調査センター	嶋上遺跡群45、弁天山 D4号墳整理成果報告書 - 埴輪・須恵器編 -
(公財) 八尾市文化財調査研究会	久宝寺遺跡 第70次調査、I 蘭光寺跡(第7次調査) II 教興寺跡(第5次調査) III 高安古墳群(第13・14次調査) IV 矢作遺跡(第10次調査)、令和2年度(公財) 八尾市文化財調査研究会事業報告、I 萱振遺跡(第31次調査) II 久宝寺遺跡(第78次調査) III 久宝寺遺跡(第80次調査) IV 久宝寺遺跡(第80次調査)ほか、I 恩地遺跡(第49次調査) II 恩地遺跡(第51次調査) III 恩地遺跡(第53次調査)
豊中市教育委員会	豊中市埋蔵文化財発掘調査概要 - 令和2年度(2020年度) -、新免遺跡第74次発掘調査報告書、豊中市埋蔵文化財発掘調査概要 - 令和3年度(2021年度) -、利倉北遺跡第1次発掘調査報告書
枚方市教育委員会	令和元年度 枚方市埋蔵文化財調査年報2019
羽曳野市教育委員会	古市遺跡群X L II、羽曳野市内遺跡調査報告書 - 平成30年度 -
泉佐野市教育委員会	泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要第90号
交野市教育委員会	令和2年度交野市埋蔵文化財発掘調査概要、交野市の金属製品、交野市文化財だより第32号
吹田市教育委員会	令和2(2020)年度埋蔵文化財緊急発掘調査概報、榎坂遺跡発掘調査報告書 I 遺構編
四條畷市教育委員会	四條畷市文化財調査年報第8号・第9号
河内長野市教育委員会	河内長野市埋蔵文化財調査報告書41
堺市文化観光局	古墳群築造後の百舌鳥野、令和2年度国庫補助事業発掘調査報告書、堺環濠都市遺跡(SKT1256)発掘調査概要報告、堺環濠都市遺跡(SKT1269)発掘調査概要報告、堺環濠都市遺跡(SKT1261)発掘調査概要報告、辻之遺跡(TN-5)発掘調査概要報告、毛穴遺跡(KENN-5)発掘調査概要報告、毛穴遺跡(KENN-6)発掘調査概要報告

大阪府立近つ飛鳥博物館	掘調査概要報告 古墳群に暮らした人たち、玉からみた古墳時、博物館だより - アスカディア・古墳の森 vol.54・vol.55、館報24
吹田市立博物館	博物館だより No.85～No.87・No.89、館報21、新芦屋古墳 - 被葬者の謎にせまる -、流行病と新型コロナ～100年後の人たちへ～、吹田の絵図集
大阪府立狭山池博物館	狭山池のルーツ、大阪府立狭山池博物館研究報告12
大阪歴史博物館	大阪歴史博物館年報 令和2年度、なにわ歴博カレンダー No.79
高槻市立今城塚古代歴史館	高槻市文化財年報 令和元年度、安満遺跡発掘調査報告書
大阪大谷大学	大阪大谷大学大学院歴史文化学論叢第2号、志学台考古第21号、歴史文化研究第21号
<b>兵庫県</b>	
姫路市埋蔵文化財センター	市之郷遺跡 - 第14次・18次発掘調査報告書 -、特別史跡姫路城跡 - 姫路城跡第358次発掘調査報告書 -、姫路城城下町跡 - 姫路城跡第407次発掘調査報告書 -、市之郷遺跡、姫路城城下町跡 - 姫路城跡第419次発掘調査報告書 -、河野遺跡 - 第1次発掘調査報告書 -、今宿丁田遺跡 - 第16次発掘調査報告書 -、溝口廃寺跡 - 第3次発掘調査報告書 -、関ノ口遺跡 - 第8次発掘調査報告書 -、宮ノ浦遺跡 - 第7次発掘調査報告書 -、姫路城城下町跡 - 姫路城跡第431次発掘調査報告書 -、和久遺跡 - 第13次発掘調査報告書 -、辻井廃寺 - 第42次発掘調査報告書 -、姫路市埋蔵文化財調査年報2021
たつの市埋蔵文化財センター	弥生人の道具箱 - 新宮宮内遺跡出土石器から -
伊丹市教育委員会	有岡城跡発掘調査報告書X X V
芦屋市教育委員会	平成11年度国庫補助事業 (1) 芦屋市内遺跡発掘調査実績報告書、平成29～31年度芦屋市内遺跡発掘調査報告書
赤穂市教育委員会	有年考古 第8号、発掘された赤穂城下町6
尼崎市教育委員会	尼崎市内遺跡 発掘調査等、尼崎市埋蔵文化財調査年報 平成24年度(1)
姫路市立城郭研究室	城郭研究室年報 vol.30
加古川市教育委員会	古大内遺跡発掘調査報告書、片山遺跡発掘調査報告書、加古川市文化財年報第4号
川西市教育委員会	令和元年度川西市発掘調査報告、摂津加茂遺跡里帰り展
神戸市文化スポーツ局	神戸・うつりかわる町とくらし～昭和ノスタルジー～、篠原遺跡第40次発掘調査報告書、雲井遺跡第41次発掘調査報告書、兵庫津遺跡第79次発掘調査報告書、兵庫津遺跡第84次発掘調査報告書、松原城跡発掘調査報告書、戎町遺跡第72次発掘調査報告書、国史跡 五色塚古墳のあゆみ
福崎町教育委員会	中溝遺跡、埋蔵文化財発掘調査報告書、桜竹之跡遺跡・桜遺跡
佐用町教育委員会	史跡利神城跡 保存活用計画、令和元年度埋蔵文化財調査年報、平成30年度埋蔵文化財調査年報
多可町教育委員会	山寄上・庵垣内遺跡 山寄上・下島遺跡 鳥羽遺跡、高岸・五反田遺跡Ⅲ
兵庫県立考古博物館	藤井古墳群、宮ノ谷遺跡、波賀野遺跡・波賀野西遺跡、兵庫県立考古博物館N E W S vol.28・vol.29
(公財)兵庫県まちづくり技術センター	ひょうごの遺跡第104号・第105号
播磨町郷土資料館	播磨町郷土資料館 館報R2、室津・大浦海岸海揚がり調査報告書
大手前大学史学研究所	大手前大学史学研究所紀要 第15号、久金属工業 本社社屋・工場 調査報告書、播磨六箇寺の研究Ⅲ - 書写山円教寺の歴史文化遺産(三) -
<b>奈良県</b>	
奈良市埋蔵文化財調査センター	富雄丸山古墳の発掘調査 - 第5次調査 -、ベンシヨ塚古墳発掘調査報告書
桜井市立埋蔵文化財センター	上之宮遺跡～飛鳥時代の豪族居館～、纏向の意匠と技、特別史跡山田寺跡保存活用計画書
奈良文化財研究所	埋蔵文化財ニュース No.182～No.186、古代瓦研究X I
橿原市教育委員会	新堂遺跡V
田原本町教育委員会	古のアクセサリー工房 - 十六面・薬王寺遺跡の古墳時代 -、弥生の食卓～唐古・

斑鳩町教育委員会	鍵遺跡の食事～ 斑鳩文化財センター年報 第10号（平成31年度・令和元年度）、聖徳太子の足跡 - 斑鳩宮と斑鳩寺 -、斑鳩町内遺跡発掘調査概報 平成31年度・令和元年度（2019）
帝塚山大学考古学研究所 （公財）元興寺文化財研究所	帝塚山大学考古学研究所研究報告ⅩⅩⅢ 藤原京右京十条三・四坊、平城京右京一条二坊十一坪（HJG8次）、平城京左京三条六坊十一坪・奈良町遺跡（HJG9次）、公益財団法人元興寺文化財研究所要覧、平城京左京四条四坊九坪（HJG13次）
奈良大学文学部考古学研究室 奈良大学文学部文化財学科 天理大学附属天理参考館 天理大学考古学・民俗学研究コース （公財）桜井市文化財協会	甲塚古墳発掘調査報告書Ⅲ 文化財学報 第三十九集 植野浩三先生・小山田宏一先生退職記念論集 天理参考館報第34号 古事 第25冊 50cm下の桜井27
<b>和歌山県</b>	
（公財）和歌山県文化財センター	新宮城下町遺跡、公益財団法人和歌山県文化財センター年報2020、立野遺跡、田屋遺跡、吉原遺跡、和歌山城跡、地宝のひびき - 和歌山県内文化財調査報告会2021- 資料集、藤並地区遺跡と土生池須恵器窯跡 - 時代をこえたものづくり、公開シンポジウム 和歌山城築城以前～城の下に眠る遺跡の姿～、歩いて知るきのくに歴史探訪 中世藤並・田殿の息吹を感じて
有田川町教育委員会	令和2年度有田川町埋蔵文化財調査年報、令和3年度有田川町埋蔵文化財調査年報、築那院跡発掘調査報告書
九度山町教育委員会	真田屋敷跡
<b>鳥取県</b>	
鳥取県埋蔵文化財センター （公財）鳥取市文化財団	調査研究紀要13 浜坂遺跡、佐貫黒田遺跡、大井家ノ下モ遺跡、磯部氏居館跡、山手森谷上分遺跡、宮長竹ヶ鼻遺跡
倉吉市教育委員会	史跡大御堂廃寺跡整備基本計画概要版、史跡大御堂廃寺跡整備基本計画、倉吉市内遺跡分布調査報告書21、不入岡遺跡群（壱本榎地区）発掘調査報告書
（一財）米子市文化財団	米子市内遺跡発掘調査報告書、史跡 福市遺跡（日焼山地区）Ⅰ、史跡 青木遺跡（5号地）Ⅲ、米子市埋蔵文化財センター・米子市福市考古資料館年報第10号、米子平野の考古学資料 石州府118・119号墳ほか、埋蔵文化財調査室年報8、新屋宮ノ段遺跡
鳥取県地域づくり推進部 北栄町教育委員会 鳥取県立むきばんだ史跡公園 大山町役場大山支所	青谷上寺地遺跡発掘調査研究年報2020 令和元・2・3年度 町内遺跡発掘調査報告書 妻木晩田遺跡発掘調査研究年報2020 向原4号墳発掘調査報告書、町内遺跡発掘調査報告書ⅩⅢ
<b>島根県</b>	
島根県埋蔵文化財調査センター 島根県古代文化センター	ドキ土器まいぶん No.68、森原下ノ原遺跡 1～3区、宮尾Ⅲ遺跡、山代原古墳 古代文化研究 第29号、日本書紀と出雲観、山陰弥生文化の形成過程、島根県西川津遺跡出土品1、印影 出雲風土記鈔
（公財）松江市スポーツ振興財団	埋蔵文化財課年報〈24〉令和元年度、神田Ⅱ遺跡、大庭小原遺跡Ⅱ、埋蔵文化財課年報〈25〉令和2年度、乃木西廻遺跡、若宮谷遺跡、朝駒葎蒲谷遺跡（2区）
出雲市役所	出雲弥生の森博物館研究紀要第9集、史跡田儀櫻井家たたら製鉄遺跡 越堂たたら跡整備基本計画書、神門横穴墓群 第10支群、常楽寺柿木田古墳群、令和2年度出雲市文化財調査報告書
松江市役所 島根県立八雲立つ風土記の丘資料館	神後田遺跡 八雲立つ風土記の丘 No.228・No.229
<b>岡山県</b>	
岡山県古代吉備文化財センター	所報吉備第71号・第72号、桑山南古墳群 細畝古墳群、紀要 第2号、南山城跡 南山明知古墳群 南山明知遺跡、西加茂遺跡、城殿山遺跡 和田谷遺跡 マキサヤ遺跡、岡山城本丸跡・二の丸跡、林原古墳群 粟井大塚古墳群、岡山市南部とそ

岡山市埋蔵文化財センター	の周辺、発掘! 南山城跡 造山古墳群発掘調査概報、岡山市埋蔵文化財センター年報20、岡山市埋蔵文化財センター研究紀要第13号、上伊福(済生会)遺跡5、南方(国体開発)遺跡発掘調査報告
井原市文化財センター	井原市文化財センター「古代まほろば館」年報12
岡山県教育委員会	埋蔵文化財関係統計資料、『道路事業に伴う発掘調査の位置づけと発掘調査費用について』(報告)、刀剣が語る古墳時代の幕開け
笠岡市教育委員会	津雲貝塚、縄文時代のタイムカプセル 史跡 津雲貝塚
真庭市教育委員会	荒木山、阿波土居跡
津山市産業文化部	津山城だより No.25、津山弥生の里第28号
津山郷土博物館	津山市史研究 第6号、津博 No.108～No.110、津山市史だより第17号、古い写真で見る津山の鉄道展、令和2年度津山郷土博物館年報、津山藩士飯塚竹斎とゆかりの画人
岡山県立美術館	美術館ニュース第133号～第136号
岡山シティミュージアム	岡山びと 第15号
岡山県立記録資料館	岡山県立記録資料館紀要 第17号
岡山大学文学部考古学研究室	楯築墳丘墓
岡山大学埋蔵文化財調査研究センター	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター紀要2019、岡山大学埋蔵文化財調査研究センター報 No.64～No.67、鹿田遺跡15、岡山大学埋蔵文化財調査研究センター紀要2020、鹿田遺跡16-
岡山理科大学 地理・考古学研究室	備前邑久窯跡群の研究2、半田山地理考古第9号
岡山市立オリエン特美術館	岡山市立オリエン特美術館研究紀要32
岡山県遺跡保護調査団事務局	調査団ニュース 57号・58号
倉敷市歴史資料整備室	倉敷の歴史 第31号
<b>広島県</b>	
(公財) 広島県教育事業団	ひろしまの遺跡第126号、年報18 令和2年度、令和元年度ひろしまの遺跡2020- 報告と講演 - 記録集
広島県教育委員会	平成30年度・平成31(令和元)年度広島県内遺跡発掘調査(詳細分布調査)報告書
東広島市教育委員会	東ひろしまの遺跡 Vol.8・Vol.9、安宿2号・3号遺跡発掘調査報告書、友松3号遺跡発掘調査報告書、二反田第1号墳発掘調査報告書、重要考古資料 安芸国分寺跡土坑出土品
三次市教育委員会	岡竹大久保遺跡発掘調査報告書、三次市埋蔵文化財年報-平成31(令和元)年度-、三次の重要文化財 第2集 神社・寺院にある文化財
庄原市教育委員会	庄原市文化財だより 第9号・第10号、芝山たたら跡発掘調査報告書
安芸高田市教育委員会	史跡毛利氏城跡(郡山城跡)保存活用計画、甲立古墳-令和元年度事前遺構確認調査-
尾道市	尾道市内遺跡、縄文土器と勾玉を作ろう、常称寺
広島大学総合博物館	広島大学埋蔵文化財調査研究紀要 第12号
<b>山口県</b>	
山口県埋蔵文化財センター	助本遺跡 森永遺跡、堀の内遺跡2、陶埴第34号、山口県埋蔵文化財センター年報-令和2年度普及公開事業等の記録-
柳井市教育委員会	長尾原遺跡Ⅱ 五反田遺跡、有実遺跡 松成西遺跡
山口大学人文学部考古学研究室	史跡周防鋳銭司跡-第3次・4次・5次・6次調査-、古代テクノポリス山口-その解明と地域資産創出を目指して-
山口大学埋蔵文化財資料館	山口大学埋蔵文化財資料館年報-平成28年度-、てらこや埋文2021春号、山口大学構内遺跡調査研究年報XⅧ
<b>徳島県</b>	
(公財) 徳島県埋蔵文化財センター	新居見遺跡(Ⅱ)(古墳時代・古代篇)、小仁宇城跡、徳島城下町跡 徳島町1丁目地点、徳島県埋蔵文化財センター年報 Vol.32 2020年度



徳島市教育委員会	徳島市埋蔵文化財発掘調査概要23
<b>香川県</b>	
香川県埋蔵文化財センター	埋蔵文化財試掘調査報告33、香川県埋蔵文化財センター年報 令和2年度、旧練兵場遺跡(第26次調査)
香川県教育委員会	香川県文化財年報 令和元年度
三豊市教育委員会	宗運寺古墳 馬城古墳 堂ヶ鼻古墳 岡本条理跡、詫間町民俗資料館・考古館 年報2、宗吉かわらの里展示館 年報10
丸亀市教育委員会	第5次丸亀城跡大手町地区、第6次丸亀城跡大手町地区、佐古川・窪田遺跡、沖遺跡、丸亀市史跡・市内遺跡発掘調査報告書第19集、帯曲輪西石垣修理工事報告書
綾川町教育委員会	小野白石遺跡 北武徳遺跡
香川県立ミュージアム	香川県立ミュージアムニュース vol.53～vol.55
<b>愛媛県</b>	
(公財)愛媛県埋蔵文化財センター	えひめ発掘平成史、紀要愛媛 第17号、愛比売 2020(令和2)年度年報、新谷森ノ前遺跡2次1(木質遺物編)、ツノ谷古墳 新谷石ヶ谷古墳群(4号墳～7号墳)、余戸弘川遺跡1・2次ほか、古谷尾ノ端遺跡ほか
(公財)松山市文化・スポーツ振興財団	南江戸上沖遺跡-1次・2次調査-、松山市埋蔵文化財調査年報33、南高井一丁地遺跡、東垣生八反地遺跡-6次調査-、若草町遺跡-3次・4次調査-、久米高畑遺跡74次調査 筋違S遺跡
今治市教育委員会	市内遺跡調査報告書(令和元年度 個人民間開発に伴う調査)、市内遺跡調査報告書(令和元年度 公共事業に伴う試掘確認調査)、史跡 能島城跡 平成30年度災害復旧事業報告書
愛南町教育委員会	愛南町内遺跡2 平城貝塚
愛媛大学埋蔵文化財調査室	愛媛大学埋蔵文化財調査室年報-2019年度-
<b>高知県</b>	
(公財)高知県文化財団	史跡 高知城跡、若宮ノ東遺跡Ⅰ、高知県埋蔵文化財センター年報第30号
高知県教育委員会	文化財こうち第7号
南国市教育委員会	栄工田遺跡
高知県立歴史民俗資料館	岡豊風日第111号～第115号、干支の玩具 丑、こうちれきみんオリンピック新聞7月16日号号外、高知県立歴史民俗資料館年報 No.30
香南市教育委員会	東狭間遺跡、久保田遺跡
<b>福岡県</b>	
小郡市埋蔵文化財調査センター	津古牟田遺跡7、小郡堂の前遺跡4、津古東宮原遺跡7、福童町遺跡14
久留米市埋蔵文化財センター	筑後国府跡-Ⅱ期政庁地区-、安武遺跡群1、南薫西遺跡-第10次発掘調査報告-、筑後国府跡-第297次発掘調査報告-、令和2年度久留米市内遺跡群、筑後国府跡-第304次発掘調査報告-、久留米市埋蔵文化財調査集報21、夫婦塚遺跡-第3・4・5・6次調査-、京隈侍屋敷遺跡-第30・31次発掘調査報告-
北九州市教育委員会	畠山遺跡Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 地点、道屋敷遺跡第1・2・3地点
大野城市教育委員会	史跡牛頸須恵器窯跡1、上園遺跡8、乙金窯跡・東浦窯跡群・大谷窯跡群、大野城市の文化財 第51集 大野城市の戦争とくらし、旧御笠郡乙金村 高原(康)家文書概要調査報告書、大道端遺跡1、谷蟹遺跡群2、森園遺跡5・天神田遺跡2・御笠の森遺跡8
筑紫野市教育委員会	前畑遺跡第13次発掘調査、前畑遺跡 重要遺跡確認調査、内開遺跡、峠山遺跡4次調査
春日市教育委員会	天神山水城跡-1次調査- 大土居水城跡2-5次調査-、平若C遺跡-3次調査-、石尺遺跡-7次調査-、寺田・長崎遺跡-10・11次調査-
朝倉市教育委員会	栗山遺跡Ⅴ、頼田高見遺跡Ⅴ、朝倉市文化財年報(平成30年度)、朝倉市の文化財ガイドブック
糸島市教育委員会	岐志花掛山古墳、篠原北ノ崎遺跡、伊都国歴史博物館年報16・17、伊都国歴史博物館紀要第15号・第16号



(公財)北九州市芸術文化振興財団	金田遺跡第3地点、左近田遺跡1(1区の調査)、菅原神社横穴群、徳力遺跡第21地点、貫川遺跡13、津田神社遺跡第3地点、大里八反田遺跡第4地点、中条遺跡第3地点、埋蔵文化財調査室年報37、研究紀要-第35号-
福岡市経済観光文化局	博多179・180、箱崎59～63、原遺跡22、比恵89、東那珂遺跡6、福岡城下町遺跡2、三宅遺跡群1、麦野A遺跡11、麦野C遺跡10、吉塚12、中南部12、福岡市埋蔵文化財年報VOL.34、福岡市埋蔵文化財センター年報第39号、青葉遺跡1、有田・小田部60、香椎A遺跡5、顕孝寺遺跡1、高節遺跡1、田村19、那珂83、中ノ原遺跡2、博多171～170
筑前町教育委員会	町内遺跡発掘調査概報I
荏田町教育委員会	国指定史跡御所山古墳調査概報3、まちの歴史7
九州歴史資料館	九歴だより No.53・No.54、太宰府史跡発掘調査報告書XI、律令国家と太宰府史跡～平城京・太宰府・多賀城～、太宰府政庁周辺官衙跡XⅢ、九州歴史資料館研究論集46
福岡大学人文学部考古学研究室	日韓交渉の考古学-古墳時代-(最終報告 論考編)、日韓交渉の考古学-弥生時代-(最終報告 論考編)
<b>佐賀県</b>	
佐賀市教育委員会	上揚遺跡1区、佐賀市埋蔵文化財確認調査報告書-2018年度-、増田遺跡 陣ノ森遺跡 鍋島本村遺跡、縄文の食文化-佐賀の自然と縄文人の生業-、さかの遺跡を掘る-七ヶ瀬遺跡発掘調査速報-、すごいぞ!佐賀市の古代遺跡 国分寺周辺遺跡展
唐津市教育委員会	唐津城下町跡1、唐津市内遺跡確認調査(37)、唐津城跡(11)
神埼市教育委員会	市内遺跡確認調査概要報告書XIV
<b>長崎県</b>	
佐世保市教育委員会	史跡福井洞窟整備報告書、佐世保の洞穴遺跡Ⅲ 大古川岩陰遺跡発掘調査報告書
<b>熊本県</b>	
宇土市教育委員会	轟貝塚Ⅲ
熊本市観光文化交流局	熊本市埋蔵文化財調査年報第23号、二本木遺跡群27～31、硯川遺跡群6、熊本市埋蔵文化財発掘調査報告集-令和2年度-第1分冊、熊本市埋蔵文化財発掘調査報告集-令和2年度-第2分冊
<b>大分県</b>	
中津市教育委員会	市内遺跡試掘確認調査 中近世城館確認調査(8)、中津城跡下町遺跡24次調査、中津城跡下町遺跡37次調査、沖代地区条理跡51次調査、中津市の中近世城館各説・総括編、市内遺跡試掘確認調査 市内遺跡発掘調査概報15
日田市教育委員会	平成31年度(2019年度)日田市埋蔵文化財年報、水町遺跡
<b>宮崎県</b>	
宮崎県埋蔵文化財センター	保木島遺跡、竹下第2遺跡、埋蔵文化財通信ひむか第23号、小迫遺跡、宮崎県埋蔵文化財センター年報第25号、瀬口遺跡、串木遺跡 第3地点、花木池平遺跡、山城城跡・串木遺跡第4地点
宮崎市教育委員会	浦之名地区遺跡群、本野原遺跡第3次調査、曾井遺跡、都和田第2遺跡・竹ヶ島第2遺跡、中ノ原第2遺跡、下北方5号地下式横穴墓が語る古墳時代とみやざき
都城市教育委員会	都城市内遺跡14、柵田第1遺跡
<b>鹿児島県</b>	
鹿児島県立埋蔵文化財センター	埋文だより第85号～第87号
(公財)鹿児島県文化振興財団	かごしまの遺跡 第25号・第26号
鹿児島大学埋蔵文化財調査センター	脇田亀ヶ原遺跡 桜ヶ丘団地HI-8.9区(2000-2保健学科棟工事)ほか
鹿児島国際大学	大里遺跡2
<b>その他</b>	
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会	公立埋文協会報第66号
観光考古学会	観光と考古学 Vol.1・Vol.2
(株)河出書房新社	図説 日本妖怪史

(株) 四門	植物園北遺跡
(公社) 日本文化財保護協会	飛天・『紀要』第5号
(株) イビソク	城仏土居屋敷遺跡発掘調査報告書2・城仏土居屋敷遺跡発掘調査報告書4、貞国遺跡発掘調査報告書、平安京左京三条二坊二町跡・堀川御池遺跡
(株) 加速器分析研究所	IAA ニュースレター No.1
(株) 文化財サービス	平安京右京六条二坊十二町跡発掘調査報告書、あすか通信第1号、平安京右京六条三坊一町跡・西院遺跡発掘調査報告書、平安京右京八条二坊七町跡・衣田町遺跡発掘調査報告書、一ノ井遺跡発掘調査報告書、平安京右京六条三坊一町跡・西院遺跡発掘調査報告書（Ⅱ）、平安京左京四条四坊一町跡・烏丸御池遺跡発掘調査報告書
国際文化財株式会社	平安京左京八条一坊八町跡埋蔵文化財発掘調査報告書、平安京左京七条二坊十五町跡
みはらし会	朝臣4号・5号・7号墳測量報告書
安西工業株式会社	平安京右京九条二坊八町跡発掘調査報告書
瀬戸内文化財研究所	岡山県玉野市、宮田山東麓の集石墓について
岡嶋隆司	地蔵ヶ淵洞穴遺跡
澤田秀実	明日への文化財 86号
降魔信行	邪馬台国は九州だ！

令和4（2022）年度

---



## I 組 織

埋蔵文化財センターは、文化財保護課の一施設として、市域内の埋蔵文化財に係る業務を一括して担当している。令和4年度における埋蔵文化財センターの組織及び人員は下記のとおりとなっている。



文化財保護課	課 長	平田 義雄
埋蔵文化財センター	館 長	小野 雅明
〃	主 任	藤原 好二
〃	学芸員	鍵谷 守秀
〃	会計年度任用職員	内田 智美
〃	〃	那須 玲子
〃	〃	日下 美樹

(職名等は令和5年3月31日現在)

## II 事業の概要

### 1 調査事業

- (1) 事前協議 Fax 等による埋蔵文化財包蔵地照会は483件と増加傾向ではあるが、コロナ禍前の水準には及んでいない。開発行為指導要綱に基づく事前協議の件数は4件、墓地経営許可に関する事前協議は4件であった。このうち菅生小学校裏山遺跡と下庄遺跡の範囲内に係る2件について文化財保護法に基づく届出が提出された。
- (2) 発掘調査 令和4年度は範囲確認調査2件、確認調査6件、立会調査43件を実施した。西元浜貝塚の範囲確認調査では、縄文時代の包含層が確認されたが、貝層は開墾などによって破壊されていることがわかった。内出1号墳の範囲確認調査では、令和3年度に調査した竪穴式石槨の北側に想定されていた新たな主体部を確認することはできなかったが、墳丘の南北の規模を確定することができた。開発に伴う確認調査においては、才楽遺跡における確認調査で弥生時代の包含層を確認することができた。立会調査は、公共工事に伴うものが12件、民間の開発に伴うものが31件である。本太城跡の立会調査では、これまで認識できていなかった微地形を確認することができた。
- (3) 測量調査 令和3年度に実施した真備町川辺に所在する南山北古墳群の測量成果から、傾斜量図の作成を実施した。
- (4) 整理作業 令和2年度に実施した塩生遺跡から出土した遺物の整理及び令和3・4年度に実施した西元浜貝塚および内出1号墳から出土した遺物の洗浄・整理作業を実施した。

## 2 教育普及事業

- (1) 主催講座等 春の遺跡見学会、秋の考古学講座など、延べ18回の講座等を実施。延べ参加人数526人。新型コロナ感染拡大防止のため講座の多くは募集定員を限定しての開催となったが、例年並みの数を実施することができた。

講 座・イベント名	実 施 日	内 容	参加人数
春の遺跡見学会㉗	5/14（土）	備後の遺跡を訪ねる	17人
らでんのバッジ作り	7/22（金）	らでん細工によるバッジ作り	4人
はにわの風鈴を作ろう	7/27（水）	人のはにわの風鈴作り	6人
土偶のランタンを作ろう	7/29（金）	粘土を使って土偶のランタン作り	7人
埋文色ぬり万華鏡	8/3（水）	埋文模様のぬり絵による万華鏡作り	2人
ハルペルマン、引っ張ると おどる人形を作ろう	8/10（水）	動く仕掛け人形作り	5人
ライフパークの集い	8/19（金）	考古学体験講座作品展	45人
秋の考古学講座 「古墳時代を再考する」	10/9（日）	金蔵山古墳と造山古墳	40人
〃	10/16（日）	史跡こうもり塚古墳の魅力を探る	37人
〃	10/23（日）	古墳時代の親族関係と王権	30人
はにわのカップ麺押さえ	11/2（水）	人のはにわのカップ麺押さえ作り	11人
粹でおしゃれな埋文でぬぐい	11/9（水）	埋文ハンコを使って カラフルな手ぬぐい作り	12人
古代模様のスマホスタンド	11/16（水）	切り絵によるスマホスタンド作り	6人
こどもまつり	2/5（日）	とんぼ玉のストラップ作り	257人
アンギン編みのコースター作り	2/8（水）	古代の編み方によるコースター作り	8人
らでん細工の朱肉ケース	2/15（水）	らでん細工による朱肉ケース作り	11人
とんぼ玉のアクセサリー	2/22（水）	ガラスを用いたとんぼ玉作り	6人
山城探訪	3/2（木）	井原市高越城跡探訪	22人

- (2) 出前講座等講師派遣 古代模様のしおり作り等、延べ7回の派遣。延べ参加人数195人。コロナ感染拡大防止に配慮して、これまで人気であった出前講座「古代の土笛作り」は受付を停止している。

派遣内容	開催日	依頼団体	参加人数
博物館学実習	5/18（水）	倉敷芸術科学大学	50人
講座「古墳の発生と展開」	5/22（日）	玉島市民交流センター	26人
古代模様のしおり作り	6/3（金）	倉敷ふれあい教室 玉島教室	6人
古代模様のしおり作り	7/20（水）	倉敷西小学校 くらしき夢クラブ	15人
勾玉ストラップを作ろう	7/28（木）	新田公民館	10人
おおむかしの塩づくり	8/31（水）	本荘小学校（3年生）	28人
初任者研修	1/26（水）	教育センター	60人

- (3) 発掘調査現地説明会

開催遺跡	開催日	内容	参加人数
内出1号墳	11/12（土）	範囲確認調査の地元向け説明会	26人

- (4) 資料の貸出

貸出期間	資料名	貸出先	使用目的
5/21（土）～ 7/9（土）	寒田窯跡群4号出土 須恵器坏蓋 12点 池尻遺跡出土 サヌカイト製石鏃 12点 実測用具 一式	岡山商科大学 経営学部 学芸員課程	博物館実習の授業 で使用するため
9/24（土）～ 11/30（水）	大崎廃寺出土軒丸瓦 1点 大崎廃寺出土軒平瓦 1点	広島県立 歴史民俗資料館	令和4年度秋の企画展 「国史跡 寺町廃寺とその 時代」に展示するため
9/17（土）～ 12/11（日）	矢部出土龍形土製品 1点 西山遺跡出土特殊器台 1点 矢部堀越遺跡出土 特殊器台形埴輪 1点	島根県立 古代出雲歴史博物館	令和4年度秋季企画展 「出雲と吉備」に展示 するため

(5) 写真の掲載許可

許可日	資料名・数量	許可先	掲載物
5/10 (火)	中津貝塚土壙墓 2 写真 1点	岡山県古代吉備 文化財センター	発掘調査報告会「大地からの便り 2022」におけるポスターやチラシ
5/31 (火)	大崎廃寺出土軒丸瓦 写真 1点 大崎廃寺出土軒平瓦 写真 1点	広島県立 歴史民俗資料館	秋の企画展「国史跡 寺町廃寺とその時代」における図録やチラシなど

(6) 報告書等の刊行

倉敷市埋蔵文化財発掘調査報告第19集

「塩生遺跡 西元浜貝塚」

A4判 本文57頁 図版18頁 300部 令和5年3月刊行

### 3 利用者数

展示・講座等を含めた令和4年度の利用者数は下表のとおりである。総利用者数は6,036人。昨年度と比較すると回復傾向ではあるが、団体数の落ち込みや各イベントの利用者数制限もあって、コロナ禍前の半分にも満たなかった。

《令和4年度月別利用者数》

月	団体数	来館者数	講座等	利用者数計	開館日数	1日平均利用者数
4		434		434	26	17
5		349	93	442	26	17
6	4	699	6	705	26	27
7	1	564	42	606	27	22
8		590	80	670	26	26
9	2	438		438	25	18
10	2	502	107	609	26	23
11	2	343	29	372	26	14
12		143		143	22	7
1		226	60	286	23	12
2		745	25	770	24	32
3	1	539	22	561	27	20
合計	12団体	5,572人	464人	6,036人	304日	20人



## Ⅲ 教育普及事業報告

### 1 春の遺跡見学会⑦

～備後の遺跡を訪ねる～

日 時 令和4年5月14日(土)  
講 師 小野雅明(倉敷埋蔵文化財センター)  
対 象 一般  
参加者 17人

今回の春の遺跡見学会では、備後南東部(福山市北部)の遺跡を訪ねた。最初に備後国分寺跡を見学し、塔、金堂、講堂の順に建物跡の配置を確かめながら奥へと進んだ。寺域の西端を流れる堂々川の土手に上がって北西側の丘陵を登り、迫山古墳群を散策した。古墳群中で最大規模を誇るのが、全長11.6mの横穴式石室をもつ第1号古墳で、天井石を見上げてその大きさを実感した。バスで神辺平野から北に入り、大坊古墳を訪ねた。7世紀前半頃の横穴式石室をもつ古墳で、切石状の巨石を用いた端正な造りは見どころであった。史跡公園「栗塚古墳の丘」を見学後、昼食を済ませてから丘陵を下り、山の神古墳へ向かった。横穴式石室の玄室は、石材を持ち送りにして四壁が築かれており、ドーム状の高い天井が目をつけた。最後に訪れた二子塚古墳は、横穴式石室を2基有する後期の前方後円墳で、側壁付きの墓道や竜山石製の石棺などが注目される。国指定史跡として保存整備が進み、解説板が写真入りで充実しているため、特異な存在がより強く印象付けられた。



### 2 夏休み体験講座

～はにわの風鈴を作ろう～

日 時 令和4年7月27日(水)  
講 師 日下美樹(倉敷埋蔵文化財センター)  
対 象 小学4～6年生  
参加者 6人

ペットボトルにテラコッタ色のクレイ粘土を貼り付けて、人のはにわ形の風鈴を制作した。短冊には、多種類の古墳柄を施し、はにわと古墳を結び付けたデザインにした。古墳柄は色鉛筆で好きな色に塗ってカラフルに仕上げた。はにわの目と口をストローでくり抜き、鼻や手を作り付けて帯などの模様を入れると、それぞれ表情の違う愛嬌のあるはにわが完成した。最後にチャイムをくくりつけると涼やかな風鈴の音色が鳴り、子ども達は作品の出来栄に満足していた。

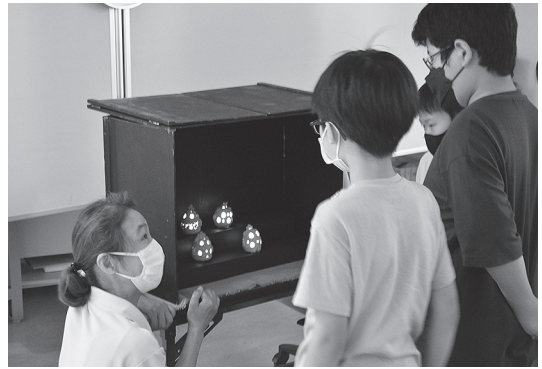


#### 4 夏休み体験講座

～土偶のランタンを作ろう～

日 時 令和4年7月29日（金）  
講 師 内田智美（倉敷埋蔵文化財センター）  
対 象 小学4～6年生  
参加者 7人

たまご形のライトにテラコッタ色の粘土を貼り付けて土偶の形にし、ストローなどで色々な模様を抜き取った部分から光が漏れるランタンに仕上げる講座。模様はストロー3種類を組み合わせたイメージで抜いたのだが、できた作品を点灯してみたところ、思うより明かりが漏れず「もっと抜きたい」という声があり、作業を延長して完成させた。子供たちは持ち帰った作品を夜点灯させるのが楽しみだと喜んでいて。



#### 5 夏休み体験講座

～埋文色ぬり万華鏡～

日 時 令和4年8月3日（水）  
講 師 那須玲子（倉敷埋蔵文化財センター）  
対 象 小学4～6年生  
参加者 2人

オリジナルキャラクターのシルエットが印刷された紙にキャラクターの表情を描いて色を塗り、紙筒の側面に貼り付ける。板状の鏡3枚を三角柱になるようテープで止めて紙筒の中に入れ、スパンコールと土器や古墳模様のパーツを挟んだキャップを紙筒の底にはめ、反対側にのぞき穴のあるキャップをはめて完成させた。子供たちは表情を考えるのに悩んでいたが、組み立てることで万華鏡の仕組みを知ることができたと楽しんで作っていた。

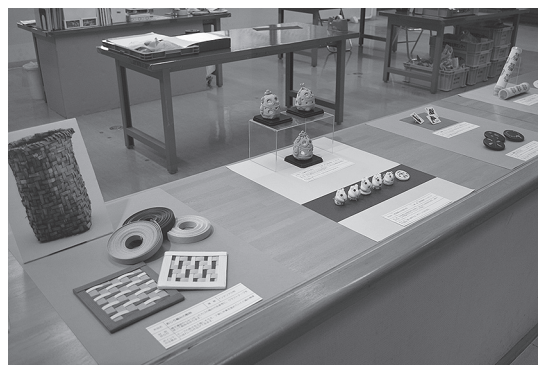


#### 6 ライフパークの集い

～考古学体験講座作品展～

日 時 令和4年8月19日（金）  
会 場 埋蔵文化財センター「遺物整理室」  
入場者 45人

地域の方々にライフパーク倉敷を知ってもらおうとともに、日ごろ利用している方々への感謝の意を込めて、市民学習センター・科学センター・教育センター・埋蔵文化財センターが共同でイベントを開催した。埋蔵文化財センターでは、考古学体験講座で製作する作品（見本）を展示した。展示品を講座のタイトル名で示すと、「はにわの箸置き作り」、「あじろ編みの敷物作り」、「とんぼ玉のアクセサリ」などで、作品の材料や使用する道具類とともに陳列し、表現方法のアイデアや手作りならではの味わいをアピールした。





## 7 秋の考古学講座

～古墳時代を再考する～

日 時 令和4年10月9日・16日・23日(日)

講 師 第1回 寒川史也(岡山市教育委員会)

「金蔵山古墳と造山古墳」

第2回 金田善敬(岡山県古代吉備文化財センター)

「史跡こうもり塚古墳の魅力を探る」

第3回 清家 章(国立大学法人岡山大学)

「古墳時代の親族関係と王権」

会 場 ライフパーク倉敷「視聴覚ホール」

対 象 一般

参加者 107人(延べ人数)

今年度は、「古墳時代を改めて考える」ことをテーマに、3回連続の講座を実施した。

第1回では、吉備の大王墓である金蔵山古墳と造山古墳について、近年の調査から明らかになってきた古墳の性格やその時代背景などを学んだ。

第2回では、史跡こうもり塚古墳について、最新の調査成果と今後の保存・活用に向けた取り組みを紹介し、その魅力に迫った。

第3回では、「古墳の埋葬ルール」という新しい視点を通して、被葬者の親族関係から見た王権のあり方などについて学んだ。

古墳時代というニーズが高いテーマということもあって、講演後には毎回多くの質問が出るなど、皆熱心に受講していた。



## 8 考古学体験講座

～粋でおしゃれな埋文てぬぐい～

日 時 令和4年11月9日(水)

講 師 内田智美(倉敷埋蔵文化財センター)

対 象 一般

参加者 12人

無地のでぬぐいに、好きな消しゴムハンコを押してオリジナルのでぬぐいを作る講座。消しゴムハンコは埴輪・土偶・土器など14種類、布用スタンプインクは7色を用意した。ハンコを押すだけの簡単な作業だが、出来上がった作品は物を包むだけでなくタペストリーにもできるので、使用目的に合わせたレイアウトに悩みながら作品を完成させたことに参加者は満足しているようだった。



## 9 考古学体験講座

～アンギン編みのコースター作り～

日 時 令和5年2月8日(水)  
講 師 日下美樹(倉敷埋蔵文化財センター)  
対 象 一般  
参加者 8人

縄文時代の編み方を参考にコースターを制作した。今までは道具作りから始めていたが、今回は編みに徹した。使用した紐の「麻」について説明を加え、編み方だけでなく素材にも関心を持ってもらうようにした。制作過程では、編み方を理解するまでに慣れない作業で戸惑う様子も見られたが、間違えないように集中して最後まで編み進めた。経糸に使用した毛糸の色を数種類用意し自由に選んでもらうことで、個性ある作品に仕上がった。



## 10 考古学体験講座

～らでん細工の朱肉ケース～

日 時 令和5年2月15日(水)  
講 師 那須玲子(倉敷埋蔵文化財センター)  
対 象 一般  
参加者 11人

6cm角の黒色の朱肉ケースの表面にらでんを施す講座。カッターナイフを使って、板状の青貝から形を切り取る。レイアウトを考え、切り取ったものと貝の破片を専用のニスで貼り付け、最後にスプレーニスを吹き付けて貝を固定し艶を出したら完成。参加者は貝が切りにくく、形を切り取る作業に時間がかかり苦勞していたが、ほとんどの人が貼る作業に夢中になり、時間をギリギリまで使って仕上げていた。



## 11 山城探訪

～高越城跡探訪～

日 時 令和5年3月2日(木)  
講 師 首藤ゆきえ・柳沢綾子(井原市文化財センター)  
対 象 一般  
参加者 22人

戦国時代の関東を制覇した北条氏の祖 北条早雲の生誕地とされる井原市 高越城跡を探訪した。当日は解説開始時に突然のみぞれに見舞われたが、その後は概ね日差しに恵まれ、暖かい陽気の中を散策することができた。井原市文化財センターのお二人による解説からは、高越城跡の立地や城の構造がよくわかり、また、北条早雲の出自や所縁の地などについても詳しく理解できたと好評であった。城跡から南を望むと、小田川とそれに併行して東西に通じる山陽道を一望することができ、参加者はその広い眺望に見入っていた。



## Ⅳ 調査事業報告

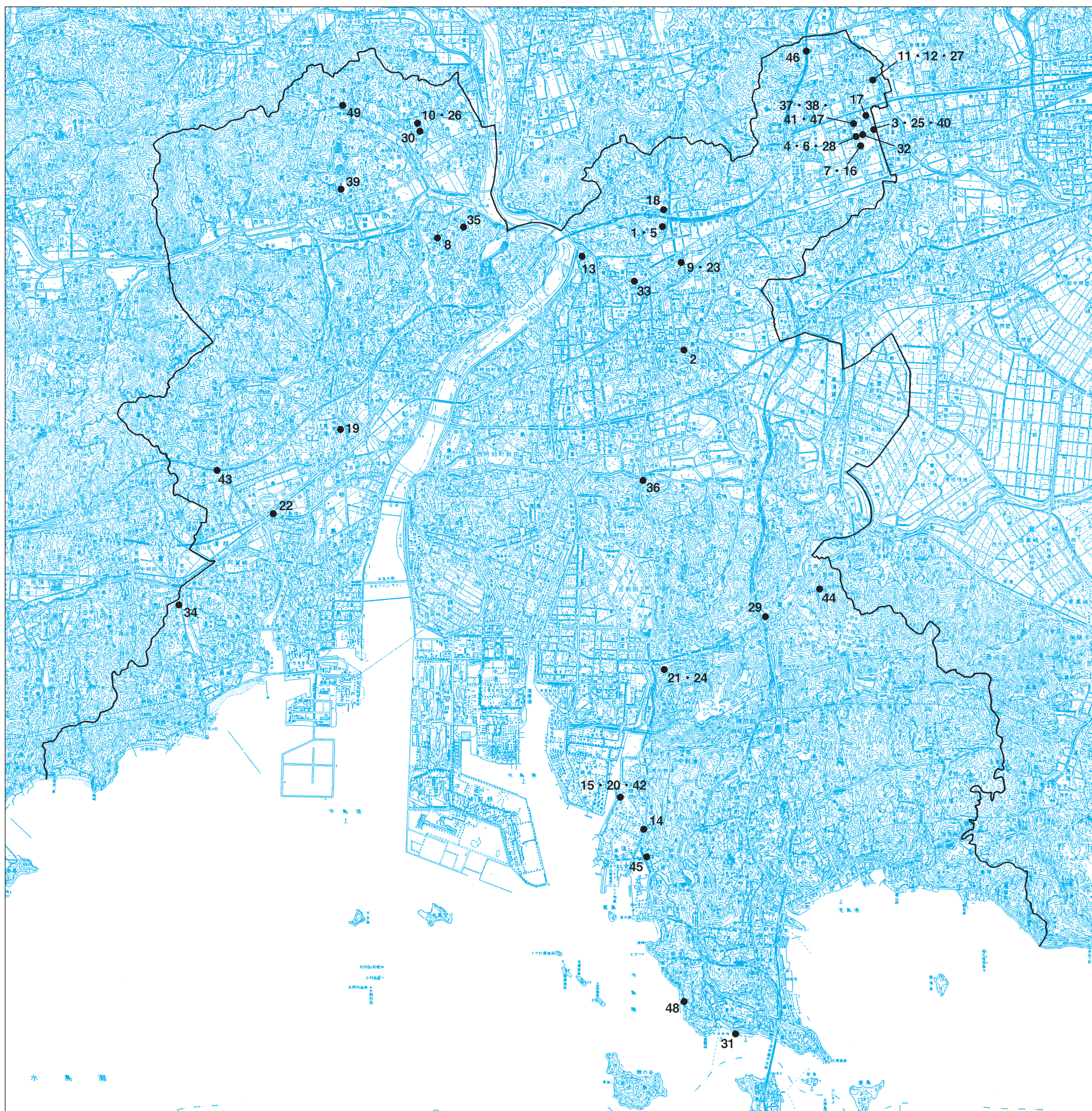
令和4年度調査一覧表

No.	遺跡名	該当地	調査原因	区 別	調査期間	調査結果
1	下西坂 1 号墳	西坂	校地側溝改修工事	立 会	22.04.06	遺物・遺構なし
2	羽島貝塚	羽島	配水管改良工事	〃	22.04.07	〃
3	下庄遺跡	上東	小売店舗建築工事	確 認	22.04.07 ～ 22.04.15	弥生土器片・ 備前焼片
4	上東遺跡	上東	携帯電話基地局 設置工事	立 会	22.04.12	遺物・遺構なし
5	下西坂 1 号墳	西坂	資材置場整備工事	〃	22.04.16	中世土器細片
6	上東遺跡	上東	個人住宅建築工事	〃	22.04.21	遺物・遺構なし
7	上東遺跡・ 平松城跡	上東	宅地造成工事	〃	22.04.21	〃
8	勢亡遺跡	真備町下二万	個人住宅建築工事	〃	22.04.28	〃
9	平田城の内城跡	平田	個人住宅建築工事	〃	22.05.07	〃
10	岡田藩陣屋跡	真備町岡田	電柱等撤去工事	〃	22.05.10	〃
11	才楽遺跡	日畑	宅地造成工事	確 認	22.05.17 ～ 22.05.18	弥生土器片・磁器片
12	才楽遺跡	日畑	個人住宅建築工事	立 会	22.05.31	弥生土器細片
13	青江城跡・ 酒津貝塚	酒津	境内改修工事	〃	22.05.31	遺物・遺構なし
14	金浜遺跡	児島塩生	事務所建築工事	確 認	22.06.01	〃
15	本太城跡	児島塩生	斜面崩落対策工事	立 会	22.06.07	〃
16	上東遺跡・ 平松城跡	下庄	電柱新設工事	〃	22.06.10	〃
17	上東遺跡	上東	電柱接地棒設置工事	〃	22.06.10	〃
18	菅生小学校 裏山遺跡	西坂	宅地造成工事	〃	22.06.22	〃
19	明見貝塚群・ 後貝塚群	玉島長尾	配水管改良工事	〃	22.06.22	〃
20	本太城跡	児島塩生	斜面崩落対策工事	〃	22.07.05	曲輪
21	広江・浜遺跡	広江 1 丁目	倉庫解体工事	〃	22.07.06	遺物・遺構なし
22	島地貝塚	玉島八島	宅地造成工事	確 認	22.07.13	〃
23	平田城の内城跡	平田	電柱新設工事	立 会	22.07.20	〃



No.	遺跡名	該当地	調査原因	区 別	調査期間	調査結果
24	広江・浜遺跡	広江 1 丁目	プレハブ建物 撤去工事	立 会	22.07.26	遺物・遺構なし
25	下庄遺跡	上東	小売店舗建築工事	〃	22.08.05 22.08.10	〃
26	岡田藩陣屋跡	真備町岡田	マンホールトイレ 設置工事	〃	22.08.20	〃
27	才楽遺跡	日畑	進入路拡幅工事	〃	22.09.16	弥生土器細片
28	上東遺跡	上東	個人住宅建築工事	〃	22.09.21	遺物・遺構なし
29	茶津池南遺跡	曾原	石垣復旧工事	〃	22.09.27	〃
30	岡田藩陣屋跡	真備町岡田	避難地整備工事	〃	22.10.04 22.10.12	〃
31	祇園下台場跡	下津井 1 丁目	デイサービス施設 建築工事	〃	22.10.05	〃
32	上東遺跡	上東	個人住宅建築工事	確 認	22.10.06	弥生土器片・ 中世土器片
33	宮前城の内城跡	宮前	銅管柱等設置工事	立 会	22.10.18	遺物・遺構なし
34	西元浜貝塚	玉島黒崎	範囲確認調査	確 認	22.10.18 ～ 22.10.22	縄文土器・石器
35	内出 1 号墳	真備町下二万	範囲確認調査	〃	22.10.25 ～ 22.11.18	葺石・埴輪
36	新吉岡橋南遺跡	黒石	屋外広告板設置工事	立 会	22.10.26	遺物・遺構なし
37	上東遺跡・庄城跡	上東	集合住宅建築工事	確 認	22.10.27	弥生土器片・ 中世土器片
38	上東遺跡・庄城跡	上東	個人住宅建築工事	立 会	22.11.19	遺物・遺構なし
39	中須賀北遺跡	真備町箭田	電柱新設工事	〃	22.12.03	〃
40	下庄遺跡	上東	屋外広告板設置工事	〃	22.12.14	〃
41	上東遺跡・庄城跡	上東	集合住宅建築工事	〃	22.12.14	〃
42	本太城跡	児島塩生	斜面崩落対策工事	〃	23.01.06	曲輪・備前焼片
43	道口遺跡	玉島道口	配水管改良工事	〃	23.01.25	遺物・遺構なし
44	新熊野山遺跡	林	公園遊具整備工事	〃	23.02.02	〃
45	塩生遺跡	児島塩生	公園遊具整備工事	〃	23.02.07	〃
46	矢部奥田遺跡・ 矢部貝塚	矢部	高速道路 橋脚耐震化工事	〃	23.02.07	〃
47	上東遺跡・庄城跡	上東	電柱新設工事	〃	23.02.14	〃
48	大室遺跡	下津井 5 丁目	公園造成工事	〃	23.03.01	〃
49	嵯峨野遺跡	真備町市場	水路改修工事	〃	23.03.01	〃







## しもしょう 下庄遺跡確認調査報告 (一覧表 No.3)

調査位置	上東字幸田165番1外		
調査原因	小売店舗建設工事	調査面積	64 m <sup>2</sup>
調査期間	22.04.07～22.04.15	調査担当	藤原・鍵谷

**遺跡の概要** 下庄遺跡は倉敷市北東部の庄地区に位置し、足守川が形成した沖積地に立地しており、周辺には上東遺跡や岩倉遺跡など、弥生時代後期を中心とした遺跡が集中している。特に上東遺跡は山陽新幹線建設や県道389号線建設工事に伴って発掘調査が行われ、弥生時代後期を中心とする大規模な集落遺跡であることが確認されている。また、下庄遺跡においても今回の調査地点のすぐ東側で行われた県道73号線建設工事に伴う発掘調査で、弥生時代後期の波止場状遺構が検出されている。この波止場状遺構の規模は、幅5～14m、高さ1.2m以上、検出された延長は45mである。遺構は北東から南西に向かって延びているが、その先端は調査区外であったため確認されていない。

**調査の概要** 調査地は標高1.3～1.4m程の水田である。県道73号線の西側に沿っており、北部では波止場状遺構の続き、南部には弥生時代の遺構が確認された微高地が係っていると推定された。トレンチは13か所を設定したが、波止場状遺構の続きが検出される可能性のあるトレンチ2～4については2×4m、その他の10か所は2×2mの大きさに設定し、土層観察を中心に調査を実施した。

トレンチ1～5・7～13の土層は基本的に同じで、厚さ15～20cm程の水田耕作土の下は自然層の水平堆積である。還元層、酸化層が4～6層堆積し、さらにその下、標高0.5～0.6m以下は有機物(植物遺体)を含む灰色の粘質土・粘土が厚く堆積している状況である。ただ、トレンチ7・11では標高1.0m付近に厚さ30cm程の灰色砂質土が認められ、粘質土ばかりのトレンチ1～5・8～10・12・13とは堆積状況が少し異なっている。遺物としては各トレンチから備前焼片や弥生土器片が出土しているが、ごく少量であり、上方から流されてきたものと考えられる。また、どのトレンチからも遺構は確認されておらず、調査地の大部分は低湿地であったか、足守



トレンチ配置図 (S=1/1,500)



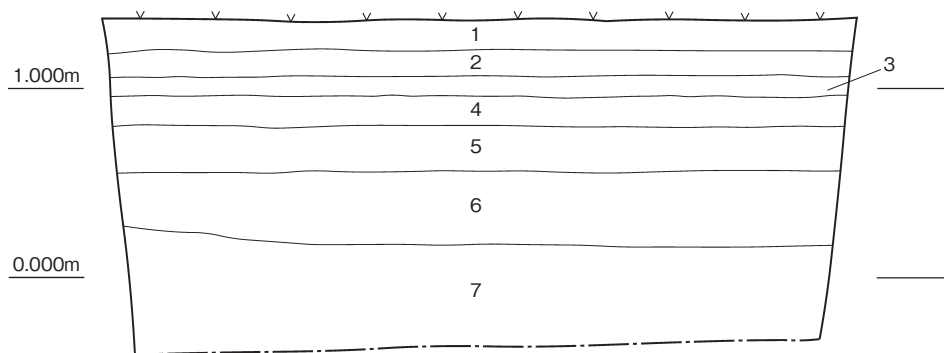


トレンチ2 東壁

川の一支流が流れていたと推定される。特にトレンチ1・8を設定した水田の畦畔及びトレンチ7・11における土層の相違は、北東の足守川方向から南西に向けた支流を反映したものであろう。波止場状遺構については、標高0.4m付近が頂部であり、トレンチ2～4を標高-0.4～0.3mまで掘り下げたが、検出することができなかった。このことから、波止場状遺構はトレンチ2～4より東の範囲に収まっていると考えられる。

調査地の最南端に設定したトレンチ6は他のトレンチと様相が異なり、しっかりとしたにぶい黄橙色土(6・7層)が南に向かって高くなっていることが観察できた。県道の調査で確認された微高地の続きであると考えられるが、遺構が確認されていないことから、トレンチ6付近は東から続く微高地の西端近くに当たると推定される。(藤原)

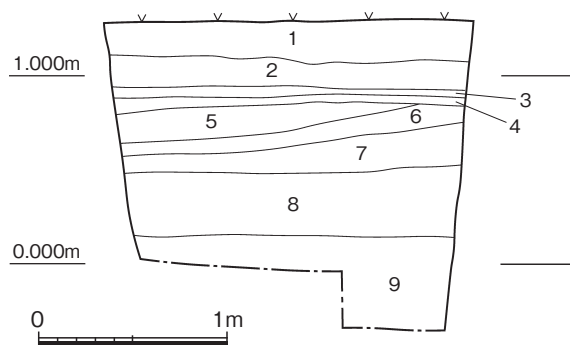
※ 岡山県教育委員会における本遺跡の名称は「上東遺跡」であるが、遺跡の連続性を考慮し、倉敷市では「下庄遺跡」として扱っている。



トレンチ2 東壁

- 1 暗灰黄色土 (2.5Y4/2) 水田耕作土
- 2 青灰色粘質土 (10BG5/1) 床土
- 3 緑灰色粘質土 (10GY6/1)

- 4 灰色粘質土 (7.5Y5/1)
- 5 黄灰色粘質土 (2.5Y5/1)
- 6 灰色粘質土 (5Y4/1)
- 7 灰色粘質土 (5Y5/1)



トレンチ6 東壁

- 1 褐灰色土 (10YR5/) 水田耕作土
- 2 にぶい黄橙色土 (10YR7/3) 床土
- 3 灰褐色土 (10YR5/1)
- 4 灰褐色土 (10YR5/1)
- 5 灰褐色粘質土 (10YR5/1)
- 6 にぶい黄橙色粘質土 (10YR7/2)
- 7 にぶい黄橙色粘質土 (10YR7/3)
- 8 黄灰色粘質土 (2.5Y6/1)
- 9 黄灰色粘質土 (2.5Y5/1)

トレンチ断面図 (S = 1/40)

## 才楽遺跡確認調査報告 (一覧表 No.11)

調査位置	日畑字瀬口340番3		
調査原因	宅地造成工事	調査面積	4m <sup>2</sup>
調査期間	22.05.17～22.05.18	調査担当	藤原・鍵谷

**遺跡の概要** 才楽遺跡は、倉敷市の北東端、足守川の右岸に沿って位置する弥生時代から古墳時代にかけての遺跡である。周辺には上東遺跡や岩倉遺跡など、同時代の集落跡をはじめ、楯築遺跡（国指定）や王墓山古墳（県指定）、日畑廃寺（市指定）など著名な遺跡も存在しており、倉敷市でも遺跡が密集する地域の一つである。今回の調査地点は才楽遺跡の北端にあたるが、かつて150mほど南の地点での立会調査では、道路下約80cmで弥生～古墳時代の遺物包含層が確認されている。

**調査の概要** 調査は、個人住宅が建設される部分に2×2mのトレンチを1か所設定し、土層観察を中心に行った。土層としては、現代の耕作土の下に厚さ50cm程度の造成土が認められ、この下は旧水田層をはさんで褐灰色を呈する厚さ10cm程度の粘質土となる。上層との境にマンガン分が多く沈着するこの層には、弥生後期の土器片が比較的多く含まれているが、それらは総じて小片で土層の厚さも薄いことから、旧水田層により既にその上面が削平されている可能性が高いと思われる。なお、遺構についてはこの層からは確認されなかった。

今回の調査の結果、地表下約80cmの高さに弥生時代後期の遺物包含層が残存していることが明らかとなった。この遺物包含層は、旧水田層によりその上面を削平されているものの水平堆積を示しており、遺跡は北端地点である当該地よりさらに北側へ延びている可能性が高まった。（鍵谷）



トレンチ位置図 (S=1/5,000)

かなはま  
**金浜遺跡確認調査報告** (一覧表 No.14)

調査位置	兄島塩生字金浜 2922 番 1		
調査原因	事務所建築工事	調査面積	4 m <sup>2</sup>
調査期間	22.06.01	調査担当	藤原・鍵谷

**遺跡の概要** 金浜遺跡は中世までは島として独立していた兄島の西岸、倉敷市兄島塩生地区に位置する古墳時代後期の製塩遺跡である。東側に大山（標高 223m）や北山（標高 133m）などの急峻な山が迫る海岸の砂浜上に形成された遺跡であるが、現在では西側の海は埋め立てられ、往時の風景を臨むことはできない。また、東側の山麓には金浜古墳や溝落谷古墳群など、古墳時代後期の横穴式石室墳が所在し、金浜遺跡で製塩を行っていた人々の墳墓であると考えられている。

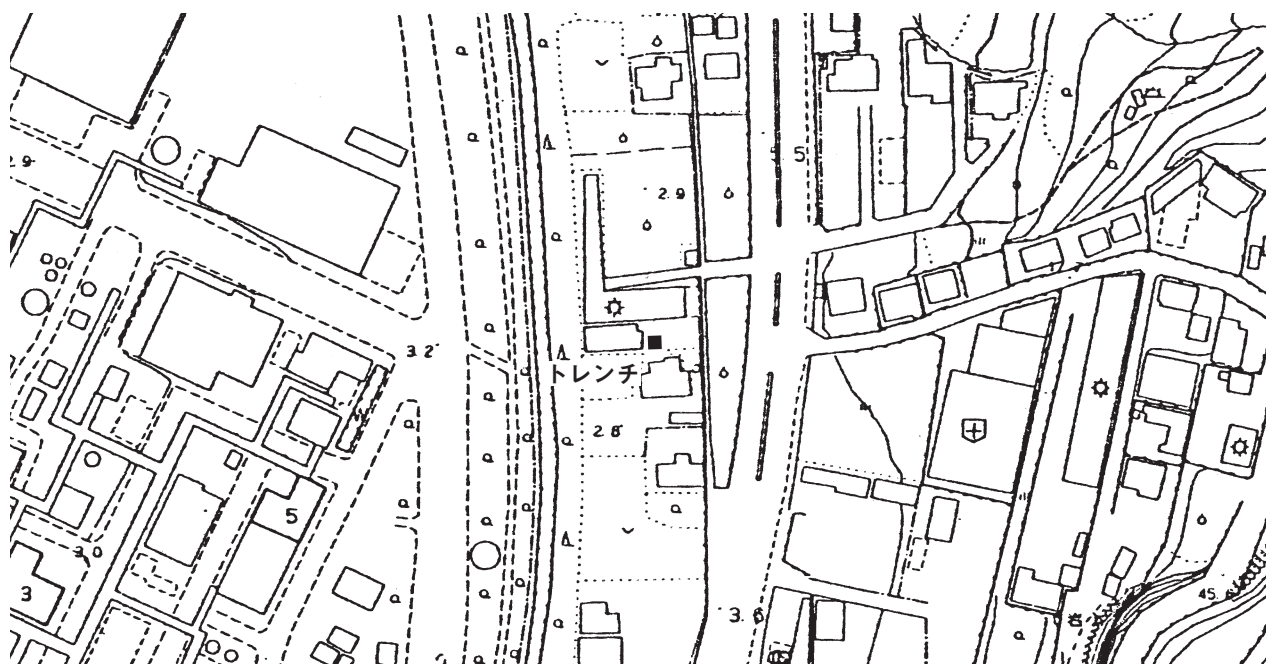
過去の調査としては、1996年に今回の調査地の北約 300m の地点で浄化槽の埋設工事に伴う立会が行われ、多量の製塩土器が検出されている。

**調査の概要** 調査は、建替予定の事務所のすぐ東側に 2×2m のトレンチを設定し、土層観察を中心に実施した。

アスファルト舗装の下には、厚さ約 20cm のバラス混じりの造成土（オリーブ灰色砂質土）と、厚さ 10cm 程の造成土（灰オリーブ色砂質土）があり、その下は旧耕作土（灰黄褐色砂質土）である。旧耕作土は西へ向かって若干下がっており、古い砂浜の傾斜を反映している可能性がある。また、旧耕作土中からは、茶碗やビニール紐などが検出された。旧耕作土の下は、遺物を含まない砂層（明黄褐色砂）が、現地表下約 1.5m まで続いており、遺構なども検出されなかった。

今回の調査では、旧耕作土の下からすぐに砂浜に由来すると考えられる砂層が検出され、遺物や遺構は確認されなかった。このことから、調査地付近までは遺跡が及んでいなかったか、あるいは開墾等によって既に削平されてしまったものと考えられる。

（藤原）



トレンチ位置図 (S=1/2,500)



# 本太城跡立会調査報告 (一覧表 No.20・42)

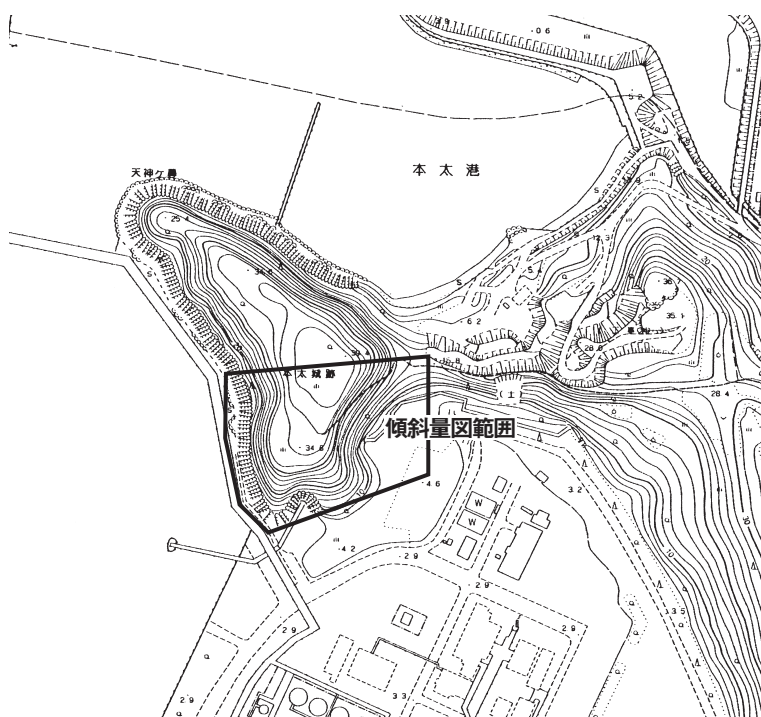
調査位置	児島塩生字本太3609 番外		
調査原因	斜面崩落対策工事	調査面積	—
調査期間	22.07.05・23.01.06	調査担当	藤原

**遺跡の概要** 本太城跡は中世までは独立した島であった児島西岸のほぼ中程に位置し、四国から児島西岸を経由して、高梁川河口方面に至る海上交通の要衝を押さえる場所に立地している。児島西岸から西に向かって突出した天神ヶ鼻を利用し、最高所（標高38.9m）から北西方向と南方の二方向に数段の曲輪を削平している。文献史からみると、築城時期は明らかではないが、永禄11年（1568）に香西氏を将とする四国勢が来攻した本太城合戦では、これを撃退している。また、本太城合戦時を含む永禄7年～元亀2年（1564～1571）にかけては能島村上水軍の影響下にあり、その後の宇喜多氏が児島を領していた時期には能勢氏が城主であったとされている（畑2016）。

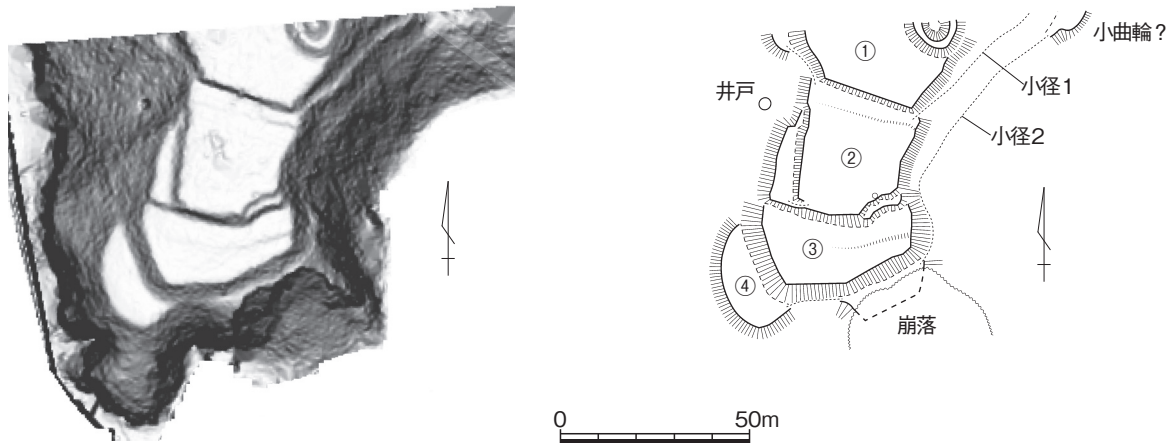
**調査の概要** 今回の立会は斜面崩落対策工事に伴うものであったが、事業者のご厚意により工事用に作成された傾斜量図を入手できた。これによって城跡の南半分ではあるが、曲輪等のより正確な形状を把握することが可能となったので報告することとした。

最高所の曲輪①及びその東隅の櫓台状の高まりは、南半部が傾斜量図に含まれている。櫓台状の高まりは真ん中が大きく窪んでいる。これは太平洋戦争末期に水島の海軍航空隊および航空機製作所の防空のために、聴測照射所の設置（未完成）が進められたからである。曲輪①の南辺は他と比較して直線的で、高さ0.8～1.2m程の低い石垣が残存し、西側に続いている。曲輪①の南側にある曲輪②は30m四方ほどの広さで、南東隅と西側に帯曲輪が附属する。また、南東隅には径1.5m程の凹みが存在するが、後世の開墾に伴うものである可能性がある。曲輪③は幅40m、奥行15m程の規模で、西側に幅25m、奥行10mほどの半月状の曲輪④が取り付く。また、曲輪③の南東下方は大きく崩落しているが、残された微地形を見る限りここにも曲輪が存在した可能性が高い。国土地理院公開の航空写真からは1960年代にはすでに崩落していることがわかる。

曲輪①の東側下方には小曲輪が存在していたようであるが、傾斜量図の境目付近であり、現地でもあまりはっきりしない。現在の登城路は東の尾根筋からここを通過するコンクリート舗装の小径1（手摺り付）が存在する。小径1は曲輪②に通じているが、それ



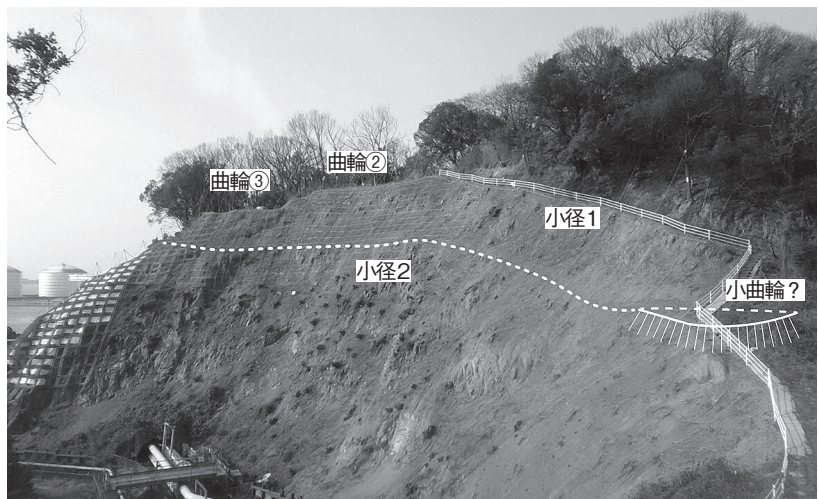
傾斜量図範囲 (S=1/5,000)



傾斜量図(左)・縄張図(右) (S=1/2,000)

とは別に、小曲輪から急斜面を南に進み曲輪③の南側を回り込んで曲輪④へ続く小径2を検出することができた。曲輪間の連絡路としては、曲輪②とその西側の帯曲輪の間や、曲輪②から曲輪①の西側を通して北の曲輪群へ向かう通路が明瞭に確認できる。

曲輪②の北西斜面には、井戸が掘られており、過去の縄張図では井戸の北側に竪堀とおぼしき記載



本太城跡南半斜面(東から)

が認められるが、傾斜量図には浮き出てこない。現地で確認したところ、それらしい微地形は存在するが、木の根の盛り上がりや小規模な崖崩れの可能性が高く、積極的に竪堀とは評価できなかった。

1960年代の航空写真からは曲輪①～③が畑として開墾されていることが読み取れる。また、太平洋戦争中に改変を受けていることも明らかである。傾斜量図によって現況をかなり正確に読み取ることが可能となったが、曲輪の細部形状や小径1・2、井戸などには上記のような後世の改変を受けた結果が当然含まれていると考えられる。今回の報告はあくまでも現状を示すものであり、築城時の様相の解明については今後に期待したい。

最後に、後日の踏査において備前焼の甕片数点を採集していることを付記しておく。(藤原)

参考文献 福田史談会『福田史談会会報 第83号』1987

水内昌康「3. 本太城跡」『岡山県文化財総合調査報告(倉敷市)』岡山県文化財保護協会 1989

横山 定「第十章第三節 倉敷の中世城郭」『新修倉敷市史 第二巻 古代・中世』倉敷市 1999

畑 和良「本太城主「能勢修理」のこと」『倉敷の歴史 第26冊』倉敷市 2016

和田 剛「261 本太城跡」『岡山県中世城館総合調査報告書 第1冊 - 備前編 -』岡山県旧行く委員会 2020

「兵器軍需品目録 倉敷海軍航空隊」アジア歴史資料センターレファレンスコード C08011138900

## しまじ 島地貝塚確認調査報告 (一覧表 No.22)

調査位置	玉島八島字玄竹145番10		
調査原因	宅地造成工事	調査面積	8㎡
調査期間	22.07.13	調査担当	藤原・鍵谷

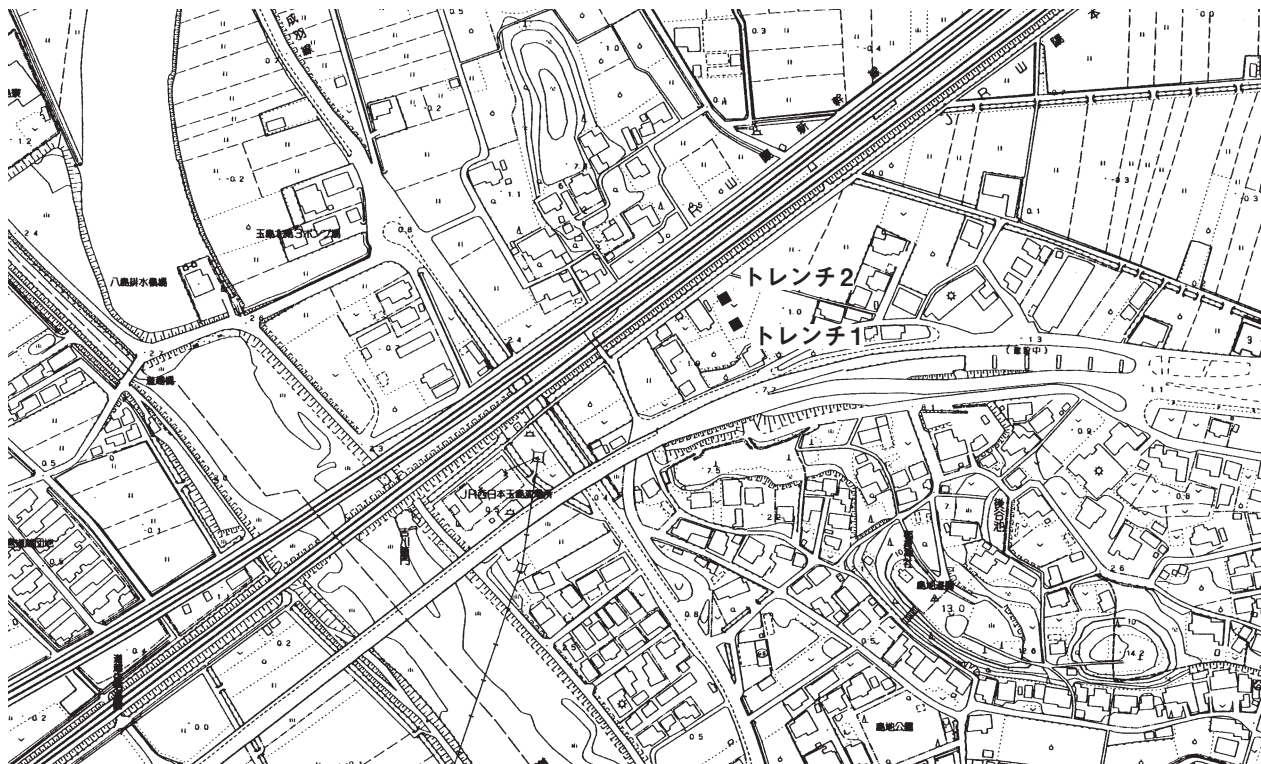
**遺跡の概要** 島地貝塚は、JR 新倉敷駅から南西へ約1.5km、かつての入海にいくつか南北に連なって浮かんでいた小島の裾部に立地する。一般的に縄文時代の貝塚として知られているが、山陽新幹線の建設に伴い昭和47年に岡山県教育委員会が実施した調査では、弥生土器や土師器をはじめ須恵器や中世土器など、縄文時代以外の遺物も検出されており、弥生時代以降も引き続き人々の生活の場であったことを示している。

**調査の概要** 調査は、宅地造成が計画されている部分に2×2mのトレンチを2か所設定し、土層観察を中心に行った。

トレンチ1では、15cm程度の耕作土の下に、厚さ約20cmの締まりの弱い造成土があり、その下には旧水田層と思われる暗緑灰色の粘質土が認められた。この下は、拳大の円礫や灰色のブロック土が混じる明黄褐色の粘質土となっており、地山と思われる。いずれの層からも、土器片等の遺物や遺構は検出されなかった。トレンチ2の土層は、上から耕作土・造成土・旧水田耕作土・地山となっており、トレンチ1の土層とほぼ同じ状況で、遺物・遺構等も全く出土しなかった。

今回の調査の結果、この付近は水田を造るにあたり地山レベルまで地下げが行われていることが明らかとなり、遺跡についてはかつて存在していたとしても既に削平されてしまった可能性が高いと思われる。

(鍵谷)



トレンチ位置図 (S=1/5,000)



# じょうとう しょう 上東遺跡・庄城跡確認調査報告 (一覧表 No.37)

調査位置	上東字南屋敷604外2筆		
調査原因	集合住宅建築工事	調査面積	8㎡
調査期間	22.10.27	調査担当	小野・鍵谷

**遺跡の概要** 今回の調査地の西約70mの地点で実施した確認調査では、中世の遺物や遺構が比較的濃密な状況で検出された一方、調査地の約50m北における確認調査では、中世の遺物や遺構は全く検出されておらず、周辺は低湿地であった状況が想定されている。

**調査の概要** トレンチ1の土層は、現地表下約1mまでは真砂土を主とする現代の造成土及び整地土で、その下には湿地の堆積層が4層認められた。遺物としては、造成土を除く各層から少量ではあるが中世土器の細片が検出されたほか、最下層の灰色粘質土には植物遺体が含まれていた。

トレンチ2では、近・現代の耕作土の下は旧水田層となっており、その下には厚さ20cm程度の浅黄色粘質土がみられた。この層からは弥生土器小片が1点出土したが、周辺部からの流れ込みと思われる。この層の下にみられる明黄褐色粘質土は、色調や土質などから周辺地において確認されている、遺跡がのる微高地の基盤層である可能性が高い。基盤層の下には沖積地を形成する自然堆積層が3層確認された。

今回の調査の結果、トレンチ1では安定した基盤層は存在せず低湿地の状況を示しているが、造成土を除く各層に中世の遺物が含まれており、庄城跡の周囲を巡っていた堀の中である可能性も考えられる。トレンチ2では基盤層が確認されたものの、遺跡の存在を示す遺物包含層や遺構は検出されなかったことから、西方院付近を含む微高地の東縁部にあたると思われる。 (鍵谷)



トレンチ位置図 (S=1/5,000)

## V 寄贈図書一覧 (2022.4.1～2023.3.31)

<b>岩手県</b>	
北上市立埋蔵文化財センター	牡丹畑遺跡 (2018年度)、立花南遺跡 (2019年度)、滝ノ沢遺跡・大堤東遺跡、丸子館跡 (2021年度)、史跡八天遺跡保存活用計画【概要版】、北上市内試掘調査報告 (2020年度)、北上工業団地内遺跡 (2018・2019年度)、北上市埋蔵文化財年報 (2020年度)、八天遺跡 (第7次調査)
<b>山形県</b>	
東北芸術工科大学芸術学部歴史遺産学科	歴史遺産研究 第16号
<b>茨城県</b>	
筑波大学歴史・人類学専攻	筑波大学 先史学・考古学研究第33号
<b>千葉県</b>	
(公財)千葉県教育振興財団 国立歴史民俗博物館	遺物から見える地域文化の発達 国立歴史民俗博物館研究報告 第233集～第237集、槻の木遺跡出土品、令和4 (2022) 年度 国立歴史民俗博物館 要覧
<b>東京都</b>	
宮内庁書陵部 文化庁 荒川区立荒川ふるさと文化館	書陵部紀要第73号、第73号 (陵墓篇) 地方における文化行政の状況について (令和2年度) 町屋四丁目実揚遺跡 K 地点発掘調査報告書、町屋四丁目実揚遺跡 L 地点発掘調査報告書、町屋四丁目実揚遺跡 M 地点発掘調査報告書、道灌山遺跡 G 地点発掘調査報告書 古代第149号 居家以岩陰遺跡Ⅲ 青山史学 第四十号
早稲田大学考古学会 国学院大学文学部考古学研究室 青山学院大学文学部史学科研究室	
<b>富山県</b>	
射水市教育委員会	射水市内遺跡発掘調査報告14、沖塚原東 B 遺跡発掘調査報告
<b>長野県</b>	
長野県立歴史館	長野県立歴史館たより vol.111～vol.114
<b>岐阜県</b>	
(公財)土岐市文化振興事業団	史跡乙塚古墳附段尻巻古墳第7～9次発掘調査報告書、石田窯跡発掘調査報告書
<b>静岡県</b>	
静岡県埋蔵文化財センター	ふじのくに考古通信 Vol.23・Vol.24
<b>愛知県</b>	
南山大学人類学博物館	南山大学人類学博物館紀要第41号
<b>三重県</b>	
鈴鹿市考古博物館	鈴鹿市考古博物館年報第23号、伊勢国府跡24、磐城山遺跡 (第11・12次) 発掘調査報告書
<b>滋賀県</b>	
(公財)滋賀県文化財保護協会	おうみ文化財通信 Vol.51～Vol.55、紀要 第35号、50年のねんりん - 設立50周年記念誌 -
(公財)栗東市スポーツ協会	高野遺跡発掘調査報告書 令和3年度1次調査、手原遺跡 令和4年度2次調査、はくつ2021- 栗東市話題の発掘調査 -、栗東市歴史文化資産2 横穴式石室と石棺、栗東市埋蔵文化財調査報告 2020 (令和2) 年度年報、高野遺跡発掘調査報告書 令和2年度1次調査、手原遺跡発掘調査報告書 令和2年度1次調査、小柿遺跡発掘調査報告書 令和2年度1次調査、小柿遺跡発掘調査報告書 令和3年度1次調査
大津市教育委員会	上高砂遺跡発掘調査報告書、坂本城後出土瓦の再整理、埋蔵文化財発掘調査集報Ⅸ
野洲市教育委員会	令和3年度野洲市文化財調査概要報告書、令和3年度野洲市埋蔵文化財調査概要報告書、令和4年度野洲市内遺跡発掘調査年報、令和4年度野洲市文化財調査概

守山市教育委員会 高島市教育委員会	要報告書、令和4年度野洲市埋蔵文化財調査概要報告書 守山市文化財調査報告書 令和2年度国庫補助対象遺跡発掘調査報告書 大將軍塚遺跡発掘調査報告書、弘川宮ノ下遺跡発掘調査報告書、高島市内遺跡調査報告書 - 令和2年度・令和3年度 -
滋賀県文化スポーツ部 日野町教育委員会 滋賀県立安土城考古博物館	敏満寺遺跡、矢倉川遺跡、椿谷遺跡、番場遺跡・播沢遺跡、土田遺跡 オノ原たたら跡発掘調査報告書 おおてみち第119号～第123号、発掘された近江Ⅱ - 遺跡アラカルト -、里帰り！ 日本最大の銅鐸 - 太古の響きを安土の地で - 人間文化53号、人間文化54号
滋賀県立大学人間文化学部	
<b>京都府</b>	
(公財) 京都府埋蔵文化財調査研究センター	もっと知りたい京都の遺跡第10号～第12号、京都府埋蔵文化財情報第142号・第143号
(公財) 向日市埋蔵文化財センター 綾部市教育委員会 京都府教育庁	長岡京跡 西小路古墳 綾部市文化財調査報告 第47集、綾部市文化財調査報告 第46集 東海道(附 渋谷街道)・大津街道 西国街道(附 丹波街道)、京都府埋蔵文化財調査報告書(令和3年度)、綴喜古墳群調査報告書
京都市文化芸術都市推進室	京都市内遺跡試掘調査報告 令和3年度、京都市内遺跡詳細分布調査報告 令和3年度、京都市内遺跡発掘調査報告 令和3年度、山科本願寺跡発掘調査総括報告書、史跡 旧二条離宮(二条城)平安京左京三条二坊一・八町跡 堀川御池遺跡発掘調査報告書、平安京左京四条三坊四町跡発掘調査報告書
南丹市立文化博物館	南丹市立文化博物館だより第18号、園部垣内古墳 - 発掘五〇年をふりかえる -、るり溪と南丹の名所、岩崎草也宛書簡(解説編)、街道、國府克展
(公財) 京都市埋蔵文化財研究所	平安京左京六条二坊九町跡・烏丸綾小路遺跡、史跡賀茂別雷神社境内、特別史跡・特別名勝 鹿苑寺(金閣寺)庭園、伏見城跡・福島太夫遺跡、羽束師志水町遺跡・長岡京跡、洛史 研究紀要 第13号、平安京左京八条四坊一町跡・御土居跡、伏見城跡、平安京右京四条三坊三町跡、平安京左京八条四坊八町跡・御土居跡、史跡旧二条離宮(二条城)、富ノ森城跡、法住寺殿跡・六波羅政庁跡・方広寺跡、長岡京跡・淀城跡、平安京右京六条一坊三町・七条一坊一町跡、御土居跡、史跡仁和寺御所跡、平安京左京四条一坊三町跡
京都橘大学	京都橘大学大学院研究論集 第20号
<b>大阪府</b>	
高槻市立埋蔵文化財調査センター (公財) 八尾市文化財調査研究会	高槻市文化財年報 令和2年度、芥川城跡 - 総合調査報告書 -、嶋上遺跡群45 大竹西遺跡第8次調査、Ⅰ植松遺跡(第17次調査)Ⅱ恩地遺跡(第55次調査)Ⅲ郡川遺跡(第34次調査)ほか、令和3年度(公財)八尾市文化財調査研究会事業報告
枚方市教育委員会 羽曳野市教育委員会 富田林市教育委員会	令和2年度 枚方市埋蔵文化財調査年報2020 古市遺跡群XⅢ、羽曳野市内遺跡調査報告書 - 令和元年度 - 令和2年度 富田林市内遺跡群発掘調査報告書、中野遺跡、アミダ遺跡、喜志遺跡、錦織南遺跡、喜志南遺跡、令和3年度 富田林市内遺跡群発掘調査報告書、甲田南遺跡、甲田遺跡・錦織遺跡・中野北遺跡発掘調査概要報告、富田林寺内町遺跡、喜志南遺跡、喜志城跡・中野北遺跡
泉佐野市教育委員会	泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要第91号、令和3年度泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要
交野市教育委員会	令和3年度交野市埋蔵文化財発掘調査概要、交野市文化財だより第33号、『天野川流域の古代社会を探る』資料集
池田市教育委員会 吹田市教育委員会 堺市文化観光局	池田市埋蔵文化財発掘調査概報 2020年度、榎坂遺跡発掘調査報告書Ⅰ 遺物編 令和3(2021)年度 埋蔵文化財緊急発掘調査概報 新修ハンドブック堺の文化財 史跡名勝天然記念物編、陶器城跡(北村砦跡)第3・4・5次発掘調査報告、鶴田池東遺跡第7次発掘調査報告、片蔵遺跡第7次発掘調査報告、令和3年度国庫補助事業発掘調査報告書



大阪府立近つ飛鳥博物館	大阪府立近つ飛鳥博物館 館報25、博物館だより- アスカディア・古墳の森 vol.56・vol.57、献ずる器、川と道の織りなす河内の交通
吹田市立博物館	出口座と阪本一房-現代人形劇の継承と発展-、吹田市立博物館 館報22、博物館だより No.88・No.90・No.91・No.93、神崎川展-川港・吹田のものがたり-古墳時代導水施設の儀礼
大阪府立狭山池博物館	大阪歴史博物館年報 令和3年度
大阪歴史博物館	大阪大学埋蔵文化財調査室年報6
大阪大学埋蔵文化財調査室	志学台考古第22号、大阪大谷大学大学院歴史文化学論叢第3号、歴史文化研究第22号
大阪大谷大学	
<b>兵庫県</b>	
姫路市埋蔵文化財センター	豆腐町遺跡、姫路市埋蔵文化財調査年報2022、播磨国分寺跡-第27次発掘調査報告書-、姫路城城下町跡-姫路城跡第436次発掘調査報告書-、姫路城城下町跡-姫路城跡第437次発掘調査報告書-、小婦方遺跡-第3次発掘調査報告書-、姫路城城下町跡-姫路城跡第444次発掘調査報告書-、姫路城城下町跡-姫路城跡第445次発掘調査報告書-
たつの市埋蔵文化財センター	播磨のもののふたち-もう一つの武人の時代-
芦屋市教育委員会	平成11年度国庫補助事業(2) 芦屋市内遺跡発掘調査実績報告書
赤穂市教育委員会	有年考古 第9号・第10号、みかんのへた山古墳群発掘調査報告書
姫路市立城郭研究室	城郭研究室年報 vol.31
加古川市教育委員会	文化財ニュース No.65、神納塚古墳発掘調査報告書・広沢山遺跡発掘調査報告書、加古川市文化財年報第5号
川西市教育委員会	令和2年度川西市発掘調査報告
神戸市文化スポーツ局	神戸・うつりかわる町とくらし2～昭和ノスタルジー～、平成30年度 神戸市埋蔵文化財年報、雪御所遺跡第5次発掘調査報告書、岡本東遺跡第3次発掘調査報告書
伊丹市	有岡城跡発掘調査報告書X X VI、伊丹の酒を支えつづけた「垂壺」という甕のおはなし
宍粟市教育委員会	長谷山遊鶴寺跡確認調査概要、宇原第4散布地発掘調査報告書、千種町内製鉄関連遺跡分布調査報告Ⅰ、千種町内製鉄関連遺跡分布調査報告Ⅱ、鹿沢城跡(山崎城跡)出土の塩焼壺
上郡町教育委員会	地中からみたかみごおりの歴史～平成の発掘調査総決算!～、赤松遺跡1、赤松居館跡1
福崎町教育委員会	福崎町古墳ガイドマップ、発掘された福崎2021、南田原条理遺跡第50次、埋蔵文化財発掘調査報告書、桜東畑遺跡
佐用町教育委員会	令和2年度埋蔵文化財調査年報
兵庫県立考古博物館	兵庫県立考古博物館NEWS vol.30・vol.31、兵庫県窯業遺跡調査報告書Ⅰ、和泉谷・津原古墳群、音谷古墳群、竹原1号窯跡・9号窯跡、鍛冶田遺跡、津万遺跡群4
(公財)兵庫県まちづくり技術センター	ひょうごの遺跡第106号・第107号
播磨町郷土資料館	梅谷七右衛門清政と播磨町の先覚者たち、播磨町郷土資料館 館報 R3
尼崎市立歴史博物館	尼崎市市内遺跡 発掘調査等、尼崎市埋蔵文化財調査年報 平成24年度(2)
相生市歴史民俗資料館	甲崎古墳測量調査報告書
大手前大学史学研究所	大手前大学史学研究所紀要 第16号
<b>奈良県</b>	
桜井市立埋蔵文化財センター	令和2年度国庫補助による発掘調査報告書、「50cm下の桜井28」、水と人びとの暮らし、桜井市内遺跡発掘調査報告書-2018年度1-、桜井市文化財協会34年の軌跡～協会の発掘調査が残したもの～
田原本町教育委員会	唐古・鍵遺跡第56次発掘調査概報、多賀遺跡発掘調査報告-第18次調査-、人類誌集報告 15、王権誕生の地「大和」～唐古・鍵、大福、纏向遺跡～、田原本町文化財調査年報27

帝塚山大学考古学研究所	帝塚山大学考古学研究所研究報告X X IV、日本古代尼寺の考古学的研究、古瓦との出会いⅢ～百済の古瓦～
桜井市纏向学研究センター	纏向考古学通信 Vol.15・Vol.16、纏向学研究センター年報 第9号(令和2年度)、纏向学研究第9号、纏向学の最前線、纏向学研究センター年報 第10号(令和3年度)
(公財)元興寺文化財研究所	瓦仙人の世界-考古学者 藤澤一夫コレクションから-、平城京左京三条六坊十二坪・奈良町遺跡(HJG10次)、平城京左京四条六坊八坪・奈良町遺跡(HJG11次)、平城京左京三条六坊十二坪・奈良町遺跡(HJG12次)
奈良大学文学部考古学研究室	甲塚古墳発掘調査報告書Ⅳ
天理大学附属天理参考館	天理参考館報第35号
奈良大学文学部文化財学科	文化財学報 第四十集 関根俊一先生退職記念論集
天理大学考古学・民俗学研究コース	古事 第26冊
(公財)桜井市文化財協会	大福遺跡第24次発掘調査報告書
<b>和歌山県</b>	
(公財)和歌山県文化財センター	公益財団法人和歌山県文化財センター年報2021
新宮市教育委員会	新宮下本町遺跡総合調査報告書
<b>鳥取県</b>	
鳥取県埋蔵文化財センター	狗尸那城跡、調査研究紀要14、須恵器の産地同定からみる古代の流通と交通
倉吉市教育委員会	両長谷遺跡第2次発掘調査報告書、史跡 大御堂廃寺跡第6次(とんど川地区)発掘調査報告書
(一財)米子市文化財団	米子市内遺跡発掘調査報告書、国指定史跡米子城跡5、埋蔵文化財調査室年報9、米子市埋蔵文化財センター・米子市福市考古資料館年報第11号、百塚88号墳・百塚第7遺跡、博労町遺跡Ⅱ
八頭町教育委員会	令和元年度町内遺跡発掘調査報告書、令和2年度町内遺跡発掘調査報告書、令和2年度町内遺跡発掘調査報告書、令和3年度町内遺跡発掘調査報告書
鳥取県立むきばんだ史跡公園	甕る弥生の国邑 妻木晩田遺跡(三訂版)、妻木晩田遺跡発掘調査研究年報2021
(公財)鳥取県教育文化財団	石塚廃寺東遺跡・大鴨遺跡
大山町役場大山支所	町内遺跡発掘調査報告書X IV
<b>島根県</b>	
島根県埋蔵文化財調査センター	森原下ノ原遺跡 1～3区 2.縄文～古墳時代編、朝酌矢田Ⅱ遺跡(A～D区)、下和田遺跡・高丸遺跡、森原下ノ原遺跡 4区、史跡出雲国府跡-11-、城乃内遺跡
島根県古代文化センター	古代文化研究 第30号、山陰における古代交通の研究、中世石見における在地領主の動向、荒神谷遺跡青銅器群の研究、出雲国風土記-地図・写本編-
(公財)松江市スポーツ振興財団	下黒田遺跡2、布志名焼窯跡群、埋蔵文化財課年報(26) 令和3年度、湯町八川往還、松江城下町遺跡(母衣町50外)、本庄川流域条里制遺跡・新庄寺ノ前遺跡・黒添遺跡
浜田市教育委員会	令和2年度 浜田市内遺跡発掘調査報告書
出雲市役所	越堂たたら跡、源代遺跡 第2地点、史跡鰐淵寺境内発掘調査報告書1、令和3年度出雲市文化財調査報告書、出雲弥生の森博物館研究紀要第10集
松江市役所	史跡出雲国分寺跡発掘調査報告書
雲南市教育委員会	上津屋遺跡、宇治西Ⅰ・Ⅱ遺跡
奥出雲町教育委員会	金屋奥遺跡
島根県立古代出雲歴史博物館	出雲と吉備、Be-Archaeo 物語-科学と伝統のはざま-
島根県立八雲立つ風土記の丘資料館	八雲立つ風土記の丘 No.230・231 合併号
<b>岡山県</b>	
岡山県古代吉備文化財センター	所報吉備第73号、岡山県古代吉備文化財センター年報1、津山市西部と鏡野町周辺、絵図遺跡2 原尾島遺跡、矢知遺跡 岡山城内堀跡ほか 津山城外堀跡、美作・佐良山の古墳、南方遺跡、史跡 こうもり塚古墳、勝負峪遺跡 桑山遺跡 桑山古墳群、百間川原尾島遺跡
岡山市埋蔵文化財センター	史跡彦崎貝塚と岡山の縄文時代研究今昔、岡山市埋蔵文化財センター年報21、岡山市埋蔵文化財センター研究紀要第14号、岡山城三之外曲輪跡

井原市文化財センター 岡山県教育委員会	井原市文化財センター「古代まほろば館」年報13 埋蔵文化財関係統計資料-令和3年度-、水中遺跡ハンドブック、刀剣が語る巨大古墳の時代、埋蔵文化財関係統計資料-令和4年度-
備前市教育委員会 総社市産業部	熊山遺跡群総合調査報告書 踏査篇 弁天上池1号窯跡 辻遺跡、総社市埋蔵文化財調査年報30(令和元年度)、総社市埋蔵文化財調査年報31(令和2年度)
津山市産業文化部	津山城だより No.26、津山弥生の里第29号、津山市内遺跡調査報告書 平成30年度～令和2年度、新修津山市史 資料編「古代・中世」、津山市史研究 第7号、津山市史だより 第18号
真庭市北房振興局 新庄村教育委員会 津山郷土博物館	北房史跡探訪ガイド& MAP 中ノ谷横穴墓 津山松平藩町奉行日記 二十八、津博 No.111～No.114、令和3年度津山郷土博物館年報、津山市史だより第19号、博学弁才無双・津山藩主松平康哉-学び続ける人々-
岡山県立美術館 岡山シティミュージアム 岡山県立記録資料館 岡山大学文明動態学研究所	美術館ニュース第137号～第140号 岡山びと 第16号 岡山県立記録資料館紀要 第18号 岡山大学埋蔵文化財調査研究センター紀要2021、津島岡大遺跡22- 第39次調査-
岡山県遺跡保護調査団事務局 倉敷市歴史資料整備室	調査団ニュース 59号・60号 倉敷の歴史 第32号
<b>広島県</b>	
(公財)広島県教育事業団	ひろしまの遺跡第127号～第129号、年報19 令和3年度、二才原遺跡、石鎚権現遺跡E地点
広島県教育委員会 東広島市教育委員会 三次市教育委員会 庄原市教育委員会 尾道市 福山市経済環境局	令和2年度広島県内遺跡発掘調査(詳細分布調査)報告書 東ひろしまの遺跡 Vol.10・Vol.11、古代の東広島 史跡寺町廃寺跡、三次市埋蔵文化財年報-令和2年度- 庄原市文化財だより 第11号 戦国の海に生きた人々 杉原・村上・渋谷氏 松永湾岸古墳群分布調査報告書、特別史跡廉塾ならびに菅茶山旧宅第1次発掘調査報告書、登録有形文化財堂々川2番砂留第1次調査、4番砂留第2次調査報告書、福山市史跡イコーカ山古墳第1次調査報告書、広島県史跡猪ノ子古墳調査報告書、福山市内遺跡発掘調査概要XⅢ、福山市内遺跡発掘調査概要XⅣ、福山市内遺跡発掘調査概要XⅤ、福山市内遺跡発掘調査概要XⅥ、福山市文化財年報47～50、史跡二子塚古墳保存整備報告書
呉市 広島大学考古学研究室 広島大学総合博物館	呉市内遺跡発掘調査(詳細分布調査)報告書 平成31(令和元)・令和2年度 広島大学大学院人間社会科学研究科考古学研究室紀要第12号 広島大学埋蔵文化財調査研究紀要 第13号
<b>山口県</b>	
山口県埋蔵文化財センター	山口県埋蔵文化財センター年報-令和3年度普及公開事業等の記録-、陶埴第35号、道場・中村遺跡、於福金山遺跡、信川遺跡、馬場遺跡
岩国市教育委員会 山口大学埋蔵文化財資料館	中津居館跡Ⅳ、岩国城御土居跡 山口大学構内遺跡調査研究年報XⅨ、見島ジーコンボ古墳群 東部域出土資料調査報告、てらこや埋文2022春号、山口大学埋蔵文化財資料館年報-平成29・30年度-
<b>徳島県</b>	
(公財)徳島県埋蔵文化財センター 徳島大学埋蔵文化財調査室	和食城跡、徳島県埋蔵文化財センター年報 Vol.33 2021年度 国立大学法人徳島大学埋蔵文化財調査室紀要4、庄・蔵本弥生集落遺跡の研究
<b>香川県</b>	
香川県埋蔵文化財センター	横井南原遺跡 上道池東遺跡、池内古田遺跡・池内御所原遺跡、埋蔵文化財試掘



香川県教育委員会 三豊市教育委員会 丸亀市教育委員会 香川県立ミュージアム	調査報告34、香川県埋蔵文化財センター年報 令和3年度 香川県埋蔵文化財センター研究紀要X 香川県文化財年報 令和2年度 大塚古墳、宗吉かわらの里展示館 年報11 詫間町民俗資料館・考古館 年報3 丸亀市史跡・市内遺跡発掘調査報告書第20集、坤櫓跡発掘調査報告書 香川県立ミュージアムニュース vol.58・vol.59
<b>愛媛県</b>	
(公財)愛媛県埋蔵文化財センター	愛比売 2021 (令和3) 年度年報、紀要愛媛 第18号、中村田所遺跡 中村田所東遺跡 西喜光地遺跡
(公財)松山市文化・スポーツ振興財団	史跡松山城跡、松山市埋蔵文化財調査年報34、下難波腰折遺跡 -1次・2次調査-、持田本村遺跡
松山市教育委員会 鬼北町教育委員会 上島町教育委員会 愛媛大学埋蔵文化財調査室	衣山東組遺跡・久万山元遺跡 史跡 等妙寺旧境内 宮ノ浦遺跡Ⅵ 愛媛大学御幸団地構内遺跡1次調査
<b>高知県</b>	
(公財)高知県文化財団	新堀川護岸、高知県埋蔵文化財センター年報第31号 2021年度、森山城跡・二ノ堀遺跡、若宮ノ東遺跡Ⅱ、史跡 高知城跡
高知県教育委員会	文化財こうち第8号、竹林山地蔵院 神峯寺 四国八十八箇所霊場第二十七番札所 神峯神社
土佐清水市教育委員会 高知県立歴史民俗資料館	土佐遍路道金剛福寺道 岡豊風日第116号～第119号、高知県立歴史民俗資料館開館30周年記念誌
<b>福岡県</b>	
小郡市埋蔵文化財調査センター 久留米市埋蔵文化財センター	小郡若山遺跡9、大保龍頭遺跡7、小板井屋敷遺跡9、松崎六本松遺跡4 発掘でよみがえる久留米城下町展、令和3年度久留米市内遺跡群、国指定史跡 筑後国府跡 - 国司館地区1-、ヘボノ木遺跡 - 第74次発掘調査報告 -、筑後国府跡 - 第245次発掘調査報告 - 第246次発掘調査報告 - 第296次発掘調査報告 -、久留米市埋蔵文化財調査集報22
北九州市教育委員会 朝倉市教育委員会 (公財)北九州市芸術文化振興財団	重住遺跡第6・7・8地点 重留遺跡第16地点、黒崎宿跡 森屋敷遺跡第3地点 林田篠原垣遺跡、立間遺跡、長光寺遺跡第6地点、朝倉市文化財年報(令和元年度) 埋蔵文化財調査室年報38、研究紀要 - 第36号 -、左近田遺跡2(2、3、4区の調査) 宮ノ谷石棺群
福岡市経済観光文化局	井尻B遺跡28・29、クエゾノ遺跡3、田村20、那珂84～86、名子遺跡2、野芥遺跡7、野芥遺跡8、博多181～189、箱崎64～66、比恵90、東入部遺跡5、福岡城下町3、藤崎遺跡22、麦野C遺跡11・12、弥永原10、福岡市埋蔵文化財年報VOL.35- 令和2(2020)年度版 -、福岡市埋蔵文化財センター年報第40号 苅田町の文化財、本町遺跡群、等覚寺の松会・綱打ち調査報告書、まちの歴史6 九歴だより No.55・No.56、九州歴史資料館研究論集47
苅田町教育委員会 九州歴史資料館 大野城市心のふるさと館	かつて、大野の町にアメリカがあった、薬師の森遺跡5、御供田遺跡5、雑餉隈遺跡5、上唐山遺跡1、上園遺跡9、後原遺跡6、松葉園遺跡2、松葉園遺跡3、水城跡4、上園遺跡10、松葉園遺跡4、瑞穂遺跡5、仲島本間尺遺跡3
<b>佐賀県</b>	
佐賀市教育委員会	東名遺跡ものがたり - 佐賀にあった縄文のムラ -、思案橋遺跡、佐賀市埋蔵文化財確認調査報告書 -2019年度-、一本黒木遺跡 -1区の調査-、長瀬遺跡 -5区の調査-、縄文貝塚を知る - 整備・活用の可能性を探る -、すごいぞ!佐賀市の古代遺跡2 肥前国庁成立前夜の佐賀市
唐津市教育委員会	芳谷炭坑跡(1)、唐津市内遺跡確認調査(38)、唐津城跡本丸3、唐津城跡本丸石垣修理工事報告書1
<b>長崎県</b>	
佐世保市教育委員会	前原遺跡、広報させば vol.851

雲仙市教育委員会	雲仙市の埋蔵文化財について～愛野町火箱遺跡・展望台遺跡の発掘調査～、中熊遺跡
<b>熊本県</b>	
熊本市観光文化交流局	熊本市埋蔵文化財調査年報第24号、北中尾遺跡、上代町遺跡群Ⅳ、二本木遺跡群32、熊本市埋蔵文化財発掘調査報告集 - 令和3年度 - 第1分冊、熊本市埋蔵文化財発掘調査報告集 - 令和3年度 - 第2分冊
<b>大分県</b>	
竹田市文化財管理センター	片ヶ瀬遺跡 下片ヶ瀬遺跡 鞍ヶ田尾遺跡、市内遺跡発掘調査ⅩⅠ、市内遺跡発掘調査ⅩⅡ、挾田町遺跡 市内遺跡発掘調査ⅩⅢ、岡藩城下町遺跡群発掘調査Ⅳ 市内遺跡発掘調査ⅩⅣ
宇佐市教育委員会	市内遺跡発掘調査概報29
日田市教育委員会	下道遺跡、吹上遺跡12次、令和2年度(2020年度)日田市埋蔵文化財年報
<b>宮崎県</b>	
宮崎県埋蔵文化財センター	湯之宮遺跡、埋蔵文化財通信ひむか第24号・第25号、羽子場遺跡、西南戦争関連遺跡総合調査成果報告書、上平遺跡、宮崎県埋蔵文化財センター年報第26号
都城市教育委員会	都城市内遺跡15、郡元西原遺跡、相原第1遺跡
<b>鹿児島県</b>	
鹿児島県立埋蔵文化財センター	埋文だより第88号～第90号
<b>その他</b>	
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会	埋蔵文化財関係統計資料 - 令和3年度 -、水中遺跡ハンドブック
文化財石垣保存技術協議会	文化財石垣保存技術協議会討論集、文化財石垣保存技術協議会研修資料集 第2集、文化財石垣保存技術協議会研修資料集 第3集
古代歴史文化協議会	刀剣 - 武器から読み解く古代社会 -
(一財) 日本考古学協会	シンポジウム～高輪築堤を考える～概要集
(公社) 日本文化財保護協会	公益社団法人文化財保護協会『紀要』第6号
(株) イビソク	勝谷遺跡発掘調査報告書、平安京右京六条三坊二町跡・西院遺跡
(株) 文化財サービス	平安京左京三条四坊一町跡発掘調査報告書、平安京左京三条二坊十五町跡・本能寺城跡発掘調査報告書、上京遺跡・寺ノ内旧域発掘調査報告書、旭山古墳群発掘調査報告書、平安京右京一条三坊四町跡・御土居跡発掘調査報告書、嵯峨野高田町遺跡発掘調査報告書
合同会社アルケス	平安京左京三条三坊十町跡・高陽院跡・二条殿御池城遺跡・烏丸御池遺跡
澤田秀実	日本列島における銅、鉛原材料の産出地同定と使用開始年代に関する学際的研究、アジア鑄造技術史学会 研究発表概要集第14号
遠藤堅三	古代のロマンス 黒媛伝説

紙 質	表紙：サンマット 160kg (PP 張り)
	本文：OK トップコートマット N70kg
	折込：上質紙 70kg
D T P	Mac OS 10.14.6 Adobe InDesign CC 2019 Adobe Photoshop CC 2019
使用フォント	モリサワ OpenType フォント
	(リュウミン L-KL・中ゴシック BBB・太ゴシック B101・
	見出ゴシック MB31・じゅん 101)
	ヒラギノ明朝 Pro W3 ヒラギノ角ゴ Pro W3
製 本	無線綴じ

## 倉敷埋蔵文化財センター年報 19

— 令和 3・4 年度 —

令和 5 年 12 月 28 日印刷発行

発 行 倉敷市教育委員会

編 集 倉敷埋蔵文化財センター

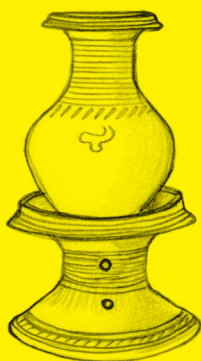
〒712-8046 倉敷市福田町古新田 940 番地

TEL 086-454-0600

The Annual Report  
Of  
Kurashiki Archaeological Center

---

Volume19 2021・2022



Kurashiki  
Archaeological Center

---

December 2023